「生涯学習に関する市民意識調査」

―市民の学習状況と学習志向に関する調査―

報　告　書

（令和３年９月実施）

名　古　屋　市　教　育　委　員　会

生涯学習部生涯学習課

は　じ　め　に

令和２年９月に「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理　多様な主体の協働とＩＣＴの活用で、つながる生涯学習・社会教育～命を守り、誰一人として取り残さない社会の実現へ～（以下、第10期議論の整理）」が公表されました。その中では、生涯学習・社会教育をめぐる現状・課題として、「社会的包摂の実現」「人生100年時代と生涯学習・社会教育」「Society5.0に向けたこれからの生涯学習・社会教育」「地域活性化の推進」「子供・若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流の推進」が挙げられています。さらに新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中でも、学びを止めないことの重要性が示され、これまでの対面による「つながり」と新しい技術を活用したオンラインによる「つながり」を組み合わせた、更に豊かな学びの実現などを通じて、人々の命を守り、誰一人として取り残すことなく生きがいを感じることのできる包摂的な社会の実現への期待が述べられています。

名古屋市では、平成31年に策定された「第３期名古屋市教育振興基本計画」において、市民が生涯を通じて学び、社会で活躍し続けられるよう支援することを目標に掲げています。また、人生100年時代といわれる中で、市民の学びや活躍の機会を生きがいづくりにつなげていくことの重要性が述べられています。これを受けて生涯学習課では、生涯学習センター（以下、センター）などでの講座・事業などを通じ、生涯学習の機会と場の提供や緩やかなネットワークづくり、学習の継続や成果還元につながるよう事業を展開してきました。今後も、市民が生涯を通じて学び、社会で活躍し続けられるように支援をしていくためには、市全体としての生涯学習に関する市民の意識を把握する必要があります。

そこで、本市の公的社会教育施設が行う生涯学習事業をさらに充実していくために、「生涯学習に関する市民意識調査」を実施いたしました。本調査は、市民の現在の生涯学習に関する学習状況と学習志向を把握するとともに、平成29年度に実施した調査との比較をすることで、市民の意識の変化を把握し、今後の事業展開の基礎資料とするものです。

本市におきましては、この報告書を活用して事業の充実に努めてまいりますが、関連機関の方々にとってもその一助になれば幸いと考えます。

令和４年３月

名古屋市教育委員会

目　　次

Ⅰ　調査をすすめるにあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ⅲ　調査の結果と分析

問 1. 標本特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
問 2. １年間の生涯学習の経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
問 3. 生涯学習を行った内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
問 4. 生涯学習を行った目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
問 5. 生涯学習の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12
問 6. 学習成果の生かし方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
問 7. 生涯学習を行わなかった理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16
問 8. 生涯学習情報の入手方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
問 9. 希望する生涯学習情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
問10. 希望する生涯学習の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
問11. 希望する生涯学習の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24
問12. 関心のある地域課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26
問13. 今後の学習成果の生かし方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28
問14. 公的施設に期待する内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　30

Ⅳ　調査結果のまとめと今後の方向性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32

○　資料（使用調査票）

Ⅰ　調査をすすめるにあたって

「生涯学習に関する市民意識調査」（以下、市民意識調査）は、平成元年度より４年に１回、市民の生涯学習における学習状況と学習志向を把握するために、次のような内容で実施された。

〈平成元年度の市民意識調査〉（調査対象数 10,000 人　有効回収 3,064 人　回収率 30.6%）
「生涯学習」という言葉の認知度、市民の生涯学習活動の現状及び今後、生涯学習を進めていく上での志向、要望についての基礎資料を得るために実施した。

〈平成５年度の市民意識調査〉（調査対象数 10,000 人　有効回収 2,877 人　回収率 28.8%）
公的社会教育施設の行う学習関連事業をより充実させるため、現状の事業が市民の生活実態や学習要求に沿っているか把握するとともに、今後、どのような方向で施設の整備や充実を求めるかについて調査を実施した。

〈平成９年度の市民意識調査〉（調査対象数 10,000 人　有効回収 2,691 人　回収率 26.9%）
公的社会教育施設の行う学習機会提供事業、学習活動支援事業などをさらに充実していくために、現状の事業が市民の生活や学習実態、学習要求に沿っているか把握するとともに、学習情報入手の状況の在り方について調査を実施した。

〈平成 13 年度の市民意識調査〉（調査対象数 5,000 人　有効回収 1,470 人　回収率 29.4%）
社会情勢の変化に伴う学習状況の変化や公的社会教育施設に求められている学習志向や現代的課題への関心について把握するとともに、情報化の進展に伴う学習内容や情報の入手方法の変化について調査した。

〈平成 17 年度の市民意識調査〉（調査対象数 5,000 人　有効回収 1,237 人　回収率 24.7%）
高度化・多様化する学習ニーズの把握に加え、公的社会教育施設に求められている学習志向や学習成果の還元、現代的課題への関心について把握するとともに、情報化の進展に伴う学習情報の入手方法の変化について調査した。

〈平成 21 年度の市民意識調査〉（調査対象数 4,000 人　有効回収 1,493 人　回収率 37.3%）
公的社会教育施設において「個人の要望」を踏まえるとともに、「社会の要請」を重視して事業を展開している中で、市民の学習状況と学習志向を前回調査と比較するとともに、学習成果の社会への還元、各種連携を意識した調査を実施した。

〈平成 25 年度の市民意識調査〉（調査対象数 4,000 人　有効回収 1,217 人　回収率 30.4%）
公的社会教育施設が多様化する市民の学習ニーズに応え、生涯学習の機会や場所を提供することを目指している中で、市民の学習状況と学習志向を前回調査と比較するとともに、学習成果還元への意欲や支援の在り方について調査した。

〈平成 29 年度の市民意識調査〉（調査対象数 4,000 人　有効回収 1,141 人　回収率 28.5%）
公的社会教育施設において、市民が生涯を通じて学びを継続できるようにするとともに、その成果を生かし社会で活躍できるように支援する中で、市民の学習状況と学習志向を前回調査と比較するとともに、学習成果還元への意欲や支援の在り方について調査した。

現在、本市では、「第３期名古屋市教育振興基本計画（以下、基本計画）」（平成31年）に基づき、市民が生涯を通じた学びを継続できるようにするとともに、歴史や芸術、自然科学を「感じる」「考える」機会の提供を進めることを目指している。

本報告書では、平成29年度の市民意識調査と比較しながら、市民の学習状況と学習志向を把握することで、今後の公的社会教育施設における生涯学習施策の方向性を明らかにしていく。

Ⅱ　調査概要

１　調査の目的

市民の生涯学習における学習状況と学習志向を調査し、今後の公的社会教育施設が行う事業展開のための基礎資料とする。

２　調査実施の概要

(1)　調査地域　　名古屋市内

(2)　調査対象　　上記地域に居住する18歳以上の個人

(3)　調査対象数　　4,000人

(4)　対象者抽出方法　　住民基本台帳より、層化２段無作為抽出

(5)　有効回収　　1,297人　回収率32.4%

(6)　調査方法　　郵送法（回答はインターネットと併用）

(7)　調査期間　　令和３年９月１日～30日

(8)　調査企画　　名古屋市教育委員会生涯学習部生涯学習課

３　調査票送付状況

送付総数　4,000

千種区	278	熱田区	116
東区	142	中川区	382
北区	290	港区	254
西区	258	南区	240
中村区	243	守山区	298
中区	166	緑区	418
昭和区	183	名東区	272
瑞穂区	187	天白区	273

４　調査集計の誤差

無作為抽出による調査結果を、そのまま全市民（2,327,819人、令和３年９月１日現在）の回答として置き換えると、全市民にアンケート調査を実施した場合との誤差、すなわち標本誤差が生じるものと考えられる。そのため、統計学的には、信頼度を95%に設定した場合、次の式から当該市民の回答を推計する。

$$標本誤差＝\pm 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\times\frac{P(1-P)}{n}}$$

Ｎ＝母集団数（2,327,819人）
ｎ＝回答者数（1,297人）
Ｐ＝回答比率

回答比率	10%又は90%	20%又は80%	30%又は70%	40%又は60%	50%
標本誤差	±1.7%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.8%

表の見方

全市民（母集団）の中で、1,297人が回答した設問について、「満足」と回答した市民の割合が10%（130人）であれば、±1.7%の標本誤差が生じるものと考えられる。

したがって、全市民（母集団）に当てはめた場合、8.3%～11.7%の範囲の市民が「満足」であると、95%の信頼度で捉えることができる。

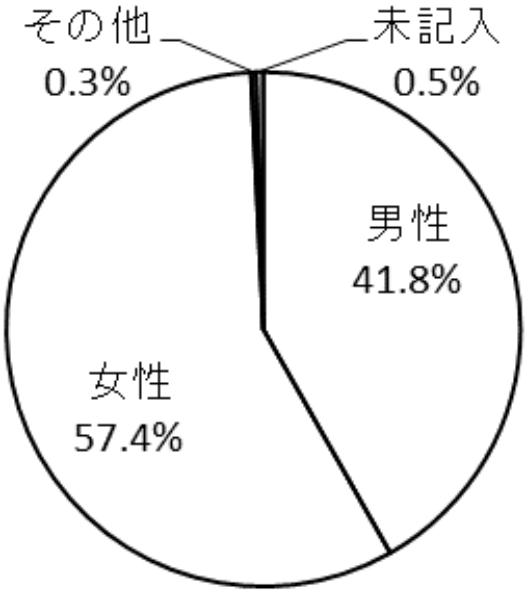
参考文献　社会教育調査ハンドブック
国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
平成23年７月発行

Ⅲ　調査の結果と分析

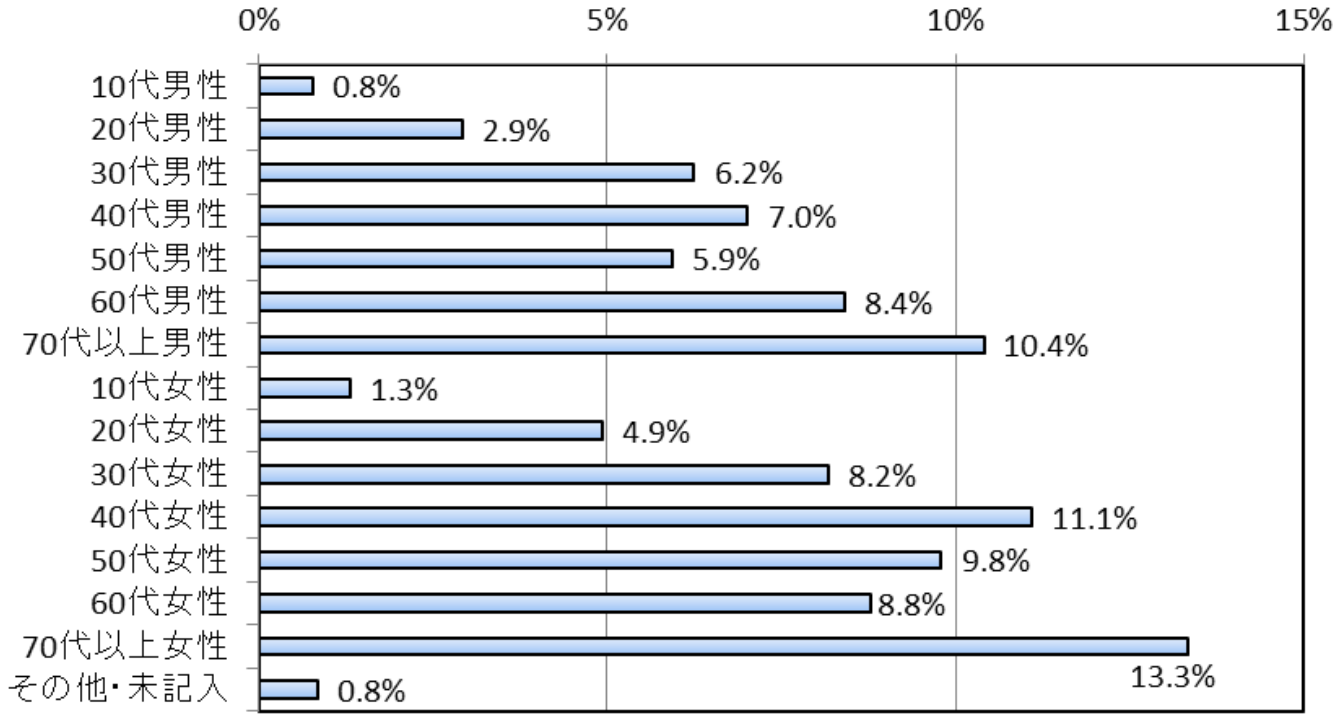
問１　あなたの性別、年齢、職業、居住区をお答えください。

◇　標本特性（N＝1,297）

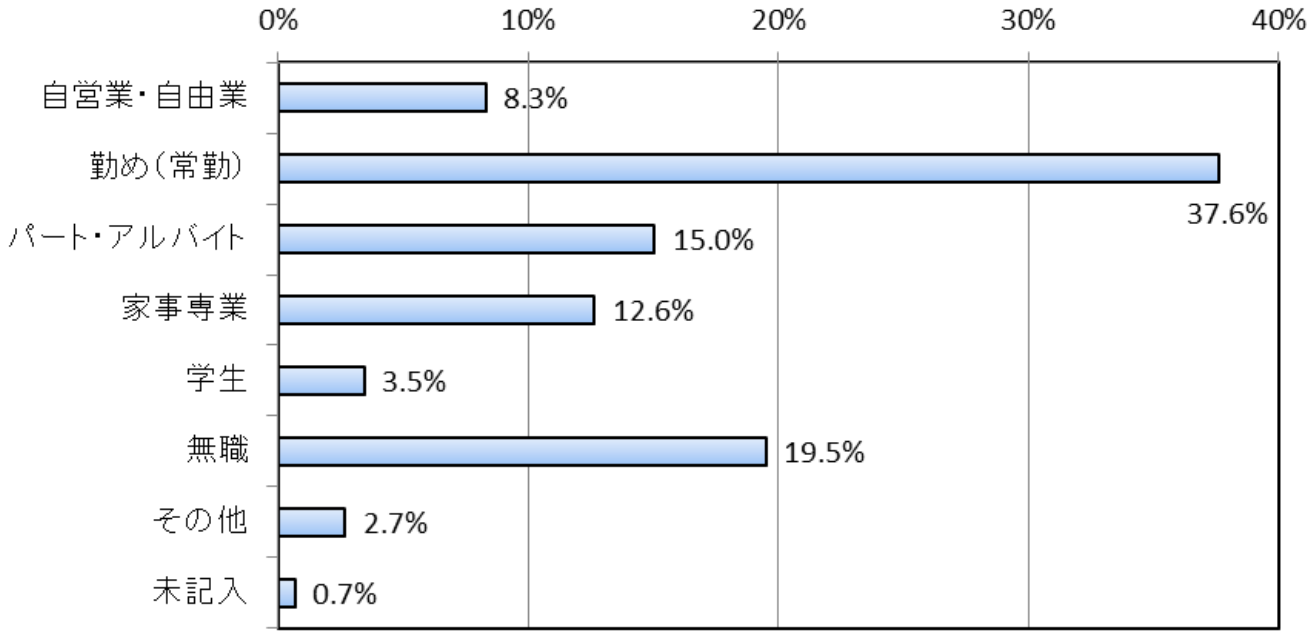
①　性別



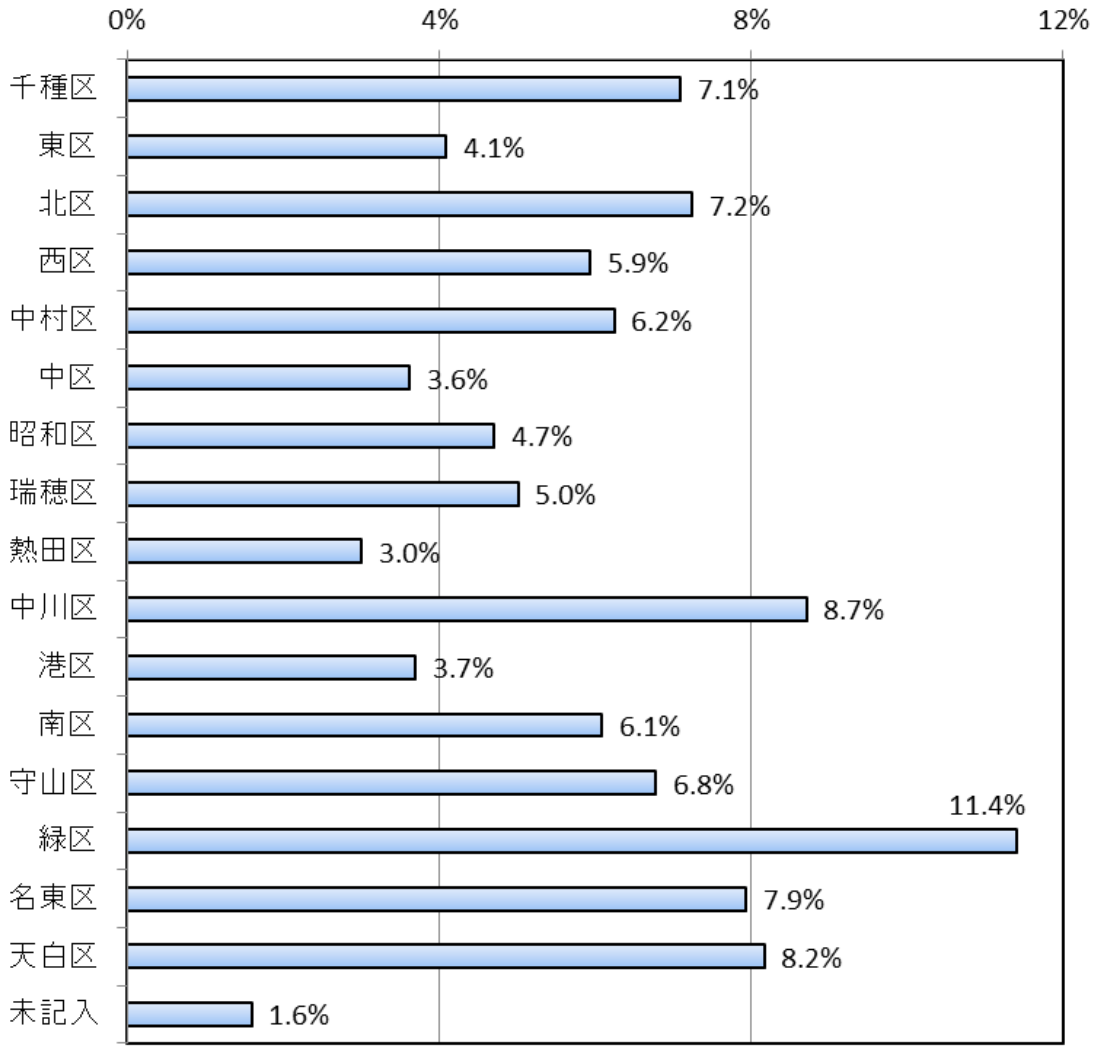
②　性・年代別



③　職業


0%
10%
20%
30%
40%
自営業・自由業
8.3%
勤め（常勤）
37.6%
パート・アルバイト
15.0%
家事専業
12.6%
学生
3.5%
無職
19.5%
その他
2.7%
未記入
0.7%

④　居住区


0%
4%
8%
12%
千種区
7.1%
東区
4.1%
北区
7.2%
西区
5.9%
中村区
6.2%
中区
3.6%
昭和区
4.7%
瑞穂区
5.0%
熱田区
3.0%
中川区
8.7%
港区
3.7%
南区
6.1%
守山区
6.8%
緑区
11.4%
名東区
7.9%
天白区
8.2%
未記入
1.6%

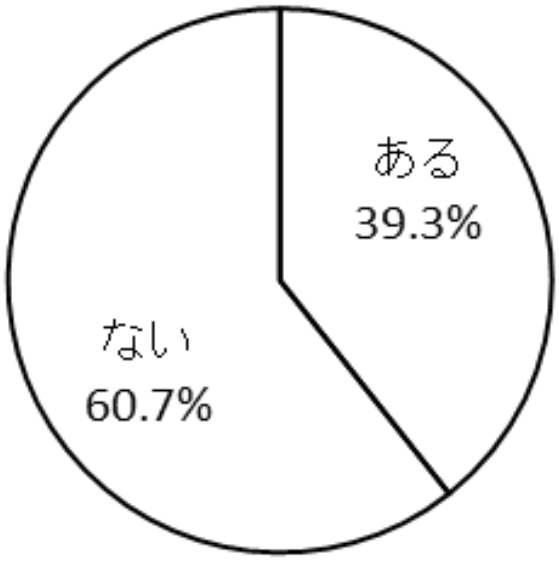
問２　あなたは、この１年間に、生涯学習（学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味的な活動）を行ったことがありますか。

※　生涯学習を行ったことが「ある」と回答した割合は、前回調査に引き続き減少し、40%を下回った。
※　性・年代別では、20代男性で「ある」と回答した割合が最も高い。
※　前回調査との比較では、「ある」と回答した割合は20代男性で、「ない」と回答した割合は40代女性で、最も増加している。

この１年間に生涯学習を行ったことが「ある」と回答した割合は、1.6ポイント（前回40.9%→今回39.3%）減少している。前回調査と同様に、今回も「ある」と回答した割合が「ない」と回答した割合を下回り、「ある」と「ない」の差がさらに広がった。

性・年代別で比較すると、「ある」と回答した割合が50%を上回ったのは、10・20代男性、20代女性である。一方、30～70代以上の女性は40%を下回っており、50～70代以上の男性は30%を下回っている。

前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は、男性で4.9ポイント（前回33.3%→今回38.2%）増加しており、20代男性の38.8ポイント（前回32.3%→今回71.1%）を筆頭に50代までの年代で増加している。「ない」と回答した割合は、女性全体で4.6ポイント（前回54.9%→今回59.5%）増加しており、40代女性の9.4ポイント（前回52.4%→今回61.8%）を筆頭に、30～60代までの年代で増加している。



(%)

問2			a ある	b ない	未回答・不明
全体　N＝		1297	39.3	60.7	0.0
性別	男　n＝	532	38.2	61.8	0.0
	女　n＝	745	40.5	59.5	0.0
	その他　n＝	4	50.0	50.0	0.0
性・年代別	男10代　n＝	10	70.0	30.0	0.0
	男20代　n＝	38	71.1	28.9	0.0
	男30代　n＝	81	48.1	51.9	0.0
	男40代　n＝	91	41.8	58.2	0.0
	男50代　n＝	77	28.6	71.4	0.0
	男60代　n＝	109	28.4	71.6	0.0
	男70代以上　n＝	135	28.1	71.9	0.0
	女10代　n＝	17	47.1	52.9	0.0
	女20代　n＝	64	59.4	40.6	0.0
	女30代　n＝	106	36.8	63.2	0.0
	女40代　n＝	144	38.2	61.8	0.0
	女50代　n＝	127	39.4	60.6	0.0
	女60代　n＝	114	39.5	60.5	0.0
	女70代以上　n＝	173	38.7	61.3	0.0
職業別	自営業・自由業　n＝	108	32.4	67.6	0.0
	勤め(常勤)　n＝	488	45.5	54.5	0.0
	パート・アルバイト　n＝	195	33.8	66.2	0.0
	家事専業　n＝	164	39.0	61.0	0.0
	学生　n＝	45	68.9	31.1	0.0
	無職　n＝	253	30.0	70.0	0.0

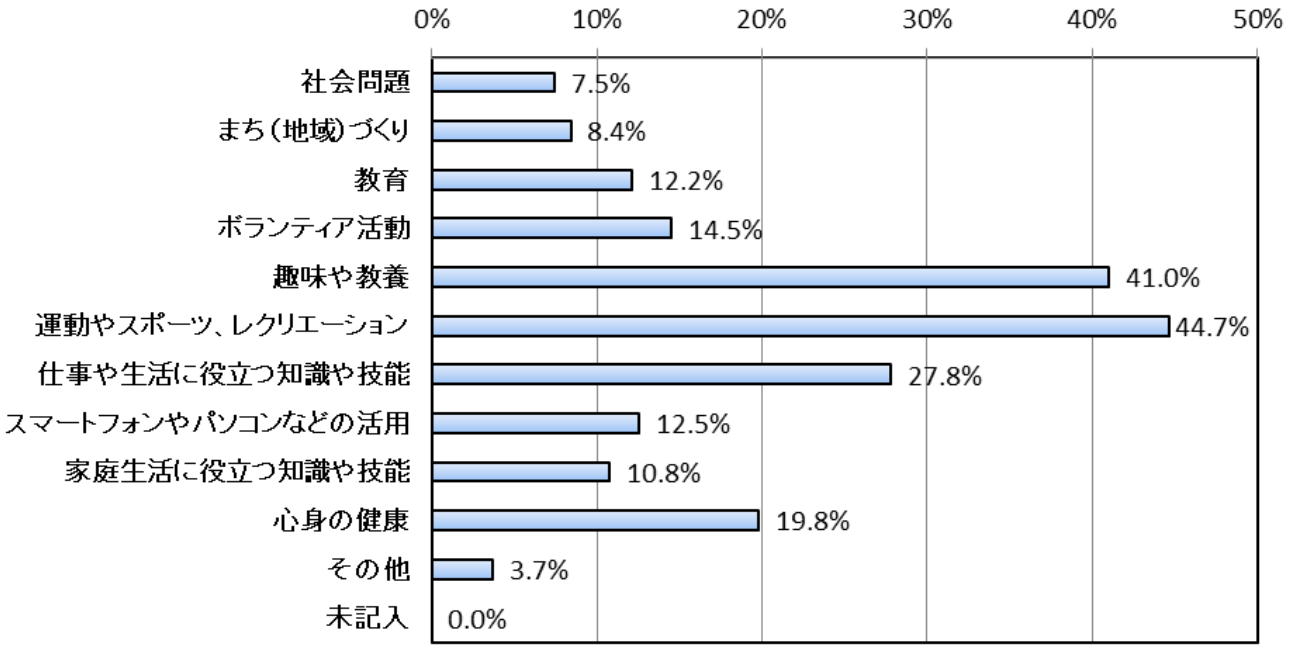
問３　あなたは、どのような内容の生涯学習を行いましたか。（複数回答）

※　生涯学習を行った内容は、「運動やスポーツ、レクリエーション」「趣味や教養」「仕事や生活に役立つ知識や技能」が上位である。
※　性・年代別では、男女とも上位３つの内容は同じだが、その次に続くのが、男性で「スマートフォンやパソコンなどの活用」、女性で「心身の健康」である。
※　前回調査との比較では、男女ともに「仕事や生活に役立つ知識や技能」と回答した割合が最も増加し、「運動やスポーツ、レクリエーション」と回答した割合が最も減少している。

生涯学習を行った内容は、「運動やスポーツ、レクリエーション」（44.7%）、「趣味や教養」（41.0%）、「仕事や生活に役立つ知識や技能」（27.8%）が上位である。

性・年代別で比較すると、上位３つは、男性で「運動やスポーツ、レクリエーション」（51.7%）、「趣味や教養」（32.5%）、「仕事や生活に役立つ知識や技能」（31.5%）の順であるのに対し、女性は「趣味や教養」（46.4%）、「運動やスポーツ、レクリエーション」（40.1%）、「仕事や生活に役立つ知識や技能」（25.5%）の順であった。特に、「運動やスポーツ、レクリエーション」は全世代の男性で、「仕事や生活に役立つ知識や技能」は10～30代女性で割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「仕事や生活に役立つ知識や技能」と回答した割合は、男性で9.9ポイント（前回21.6%→今回31.5%）、女性で10.2ポイント（前回15.3％→今回25.5%）増加している。また、「運動やスポーツ、レクリエーション」と回答した割合は、20代男性、50代女性では増加しているが、男女とも、その他の全年代で減少している。特に60代男性（前回56.0％→今回35.5％）、30・60代女性（前回57.4％、60.6％→今回30.8%、37.8%）では20ポイント以上減少している。



(%)

問3			a 社会問題	b まち（地域）づくり	c 教育	d ボランティア活動	e 趣味や教養	f 運動やスポーツ、レクリエーション	g 仕事や生活に役立つ知識や技能	h スマートフォンやパソコンなどの活用	i 家庭生活に役立つ知識や技能	j 心身の健康	k その他
全体 N=		510	7.5	8.4	12.2	14.5	41.0	44.7	27.8	12.5	10.8	19.8	3.7
性別	男 n=	203	7.9	9.4	7.4	11.8	32.5	51.7	31.5	14.3	6.9	12.3	3.0
	女 n=	302	7.3	7.9	15.6	16.2	46.4	40.1	25.5	11.6	13.2	25.2	4.3
	その他 n=	2	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性・年代別	男10代 n=	7	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0
	男20代 n=	27	7.4	11.1	14.8	11.1	29.6	70.4	37.0	22.2	3.7	14.8	0.0
	男30代 n=	39	7.7	5.1	7.7	5.1	33.3	48.7	46.2	20.5	17.9	10.3	0.0
	男40代 n=	38	0.0	0.0	15.8	10.5	15.8	57.9	44.7	13.2	5.3	7.9	0.0
	男50代 n=	22	4.5	4.5	0.0	4.5	45.5	59.1	36.4	13.6	0.0	9.1	4.5
	男60代 n=	31	12.9	19.4	6.5	16.1	35.5	35.5	16.1	6.5	0.0	9.7	6.5
	男70代以上 n=	38	15.8	13.2	0.0	18.4	42.1	47.4	10.5	10.5	7.9	21.1	7.9
	女10代 n=	8	0.0	12.5	12.5	12.5	62.5	25.0	37.5	25.0	25.0	25.0	0.0
	女20代 n=	38	5.3	5.3	21.1	5.3	44.7	44.7	57.9	15.8	7.9	18.4	2.6
	女30代 n=	39	7.7	7.7	30.8	2.6	41.0	30.8	35.9	7.7	15.4	28.2	2.6
	女40代 n=	55	9.1	7.3	23.6	5.5	47.3	38.2	23.6	16.4	12.7	23.6	0.0
	女50代 n=	50	8.0	10.0	12.0	20.0	34.0	46.0	32.0	8.0	16.0	22.0	4.0
	女60代 n=	45	8.9	6.7	13.3	28.9	55.6	37.8	13.3	6.7	6.7	20.0	4.4
	女70代以上 n=	67	6.0	9.0	1.5	28.4	50.7	43.3	4.5	11.9	16.4	34.3	10.4
職業別	自営業・自由業 n=	35	5.7	8.6	17.1	22.9	34.3	42.9	34.3	20.0	5.7	25.7	2.9
	勤め(常勤) n=	222	5.0	5.0	12.2	7.7	36.5	47.3	42.3	11.7	9.5	15.3	1.4
	パート・アルバイト n=	66	12.1	21.2	19.7	21.2	39.4	34.8	24.2	9.1	10.6	24.2	6.1
	家事専業 n=	64	3.1	4.7	9.4	20.3	48.4	45.3	6.3	4.7	17.2	26.6	4.7
	学生 n=	31	9.7	12.9	22.6	12.9	38.7	48.4	25.8	25.8	19.4	16.1	0.0
	無職 n=	76	11.8	6.6	3.9	22.4	55.3	40.8	6.6	15.8	7.9	19.7	6.6

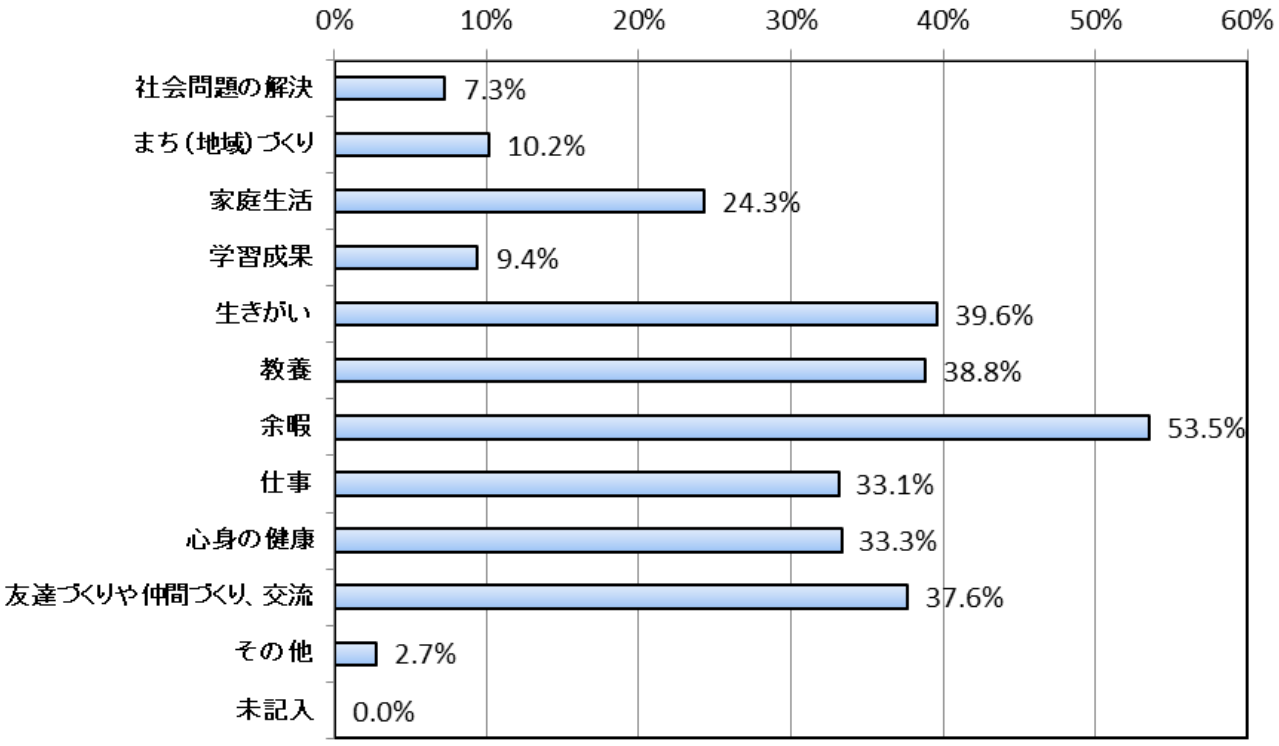
問４　あなたが生涯学習を行う目的は何ですか。（複数回答）

※　生涯学習を行った目的は、「余暇」「生きがい」「教養」が上位である。
※　性・年代別では、10・20・50・70代以上の男性、30・50・60代の女性で「余暇」、60代男性、10代女性で「生きがい」と回答した割合が最も高くなっている。
※　前回調査との比較では、20代男性の「心身の健康」、30・40代男性の「教養」、30・40代女性の「仕事」などの割合が大幅に増加している。

生涯学習を行った目的は、「余暇」（53.5%）、「生きがい」（39.6%）、「教養」（38.8%）が上位で、以下、「友達づくりや仲間づくり、交流」（37.6%）、「心身の健康」（33.1%）と続く。

性・年代別で比較すると、「余暇」「生きがい」「教養」以外では、60代の男性で「まち（地域）づくり」（29.0%）と回答した割合が高くなっている。また、50～70代以上の女性で、「心身の健康」と回答した割合が高くなっている。さらに、20～50代で男女ともに「仕事」と回答した割合が高くなっている。

前回調査と比較すると、「心身の健康」と回答した割合が20代男性で23.3ポイント（前回10.0%→今回33.3%）、「教養」と回答した割合が30代男性で23.4ポイント（前回30.4%→53.8%）、40代男性で22.4ポイント（前回25.0%→47.4%）と大幅に増加している。「仕事」と回答した割合は、女性で13.3ポイント（前回19.8%→今回33.1%）増加しており、特に30代で27.9ポイント（前回23.4%→今回51.3%）、40代で21.9ポイント（前回25.4%→今回47.3%）増加している。



(%)

問4		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
		社会問題の解決	まち（地域）づくり	家庭生活	学習成果	生きがい	教養	余暇	仕事	心身の健康	友達づくりや仲間づくり、交流	その他
全体 N=	510	7.3	10.2	24.3	9.4	39.6	38.8	53.5	33.1	33.3	37.6	2.7
性別	男 n= 203	6.9	11.8	18.2	11.3	37.4	40.4	51.2	34.0	27.6	36.9	3.4
	女 n= 302	7.6	9.3	28.1	7.9	41.7	37.7	55.3	33.1	37.1	38.1	2.3
	その他 n= 2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
性・年代別	男10代 n= 7	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	14.3	57.1	28.6	14.3	28.6	0.0
	男20代 n= 27	3.7	7.4	22.2	7.4	40.7	37.0	55.6	37.0	33.3	37.0	7.4
	男30代 n= 39	7.7	10.3	28.2	17.9	30.8	53.8	48.7	48.7	25.6	35.9	2.6
	男40代 n= 38	0.0	0.0	15.8	5.3	36.8	47.4	42.1	52.6	21.1	23.7	2.6
	男50代 n= 22	0.0	9.1	18.2	4.5	27.3	31.8	77.3	31.8	22.7	31.8	0.0
	男60代 n= 31	12.9	29.0	16.1	16.1	51.6	35.5	45.2	19.4	25.8	48.4	3.2
	男70代以上 n= 38	15.8	18.4	10.5	15.8	34.2	34.2	50.0	10.5	39.5	44.7	5.3
	女10代 n= 8	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	50.0	12.5	50.0	0.0
	女20代 n= 38	2.6	2.6	28.9	15.8	31.6	50.0	50.0	55.3	18.4	15.8	0.0
	女30代 n= 39	5.1	7.7	38.5	2.6	25.6	38.5	59.0	51.3	33.3	33.3	0.0
	女40代 n= 55	7.3	5.5	34.5	1.8	36.4	45.5	45.5	47.3	30.9	29.1	1.8
	女50代 n= 50	10.0	14.0	24.0	10.0	38.0	32.0	56.0	32.0	48.0	40.0	4.0
	女60代 n= 45	13.3	6.7	26.7	11.1	57.8	42.2	71.1	22.2	40.0	35.6	6.7
	女70代以上 n= 67	7.5	16.4	20.9	9.0	52.2	23.9	56.7	4.5	47.8	59.7	1.5
職業別	自営業・自由業 n= 35	8.6	8.6	28.6	8.6	37.1	40.0	40.0	42.9	31.4	37.1	0.0
	勤め(常勤) n= 222	3.6	6.8	23.0	8.1	33.8	45.9	53.6	46.4	27.9	29.7	3.6
	パート・アルバイト n= 66	15.2	21.2	30.3	10.6	34.8	33.3	48.5	40.9	37.9	33.3	1.5
	家事専業 n= 64	1.6	6.3	34.4	10.9	51.6	21.9	62.5	7.8	40.6	48.4	1.6
	学生 n= 31	6.5	3.2	19.4	6.5	41.9	51.6	41.9	38.7	19.4	35.5	0.0
	無職 n= 76	13.2	9.2	14.5	11.8	46.1	34.2	64.5	5.3	42.1	53.9	3.9

問５　あなたは、どのように生涯学習を行いましたか。（複数回答）

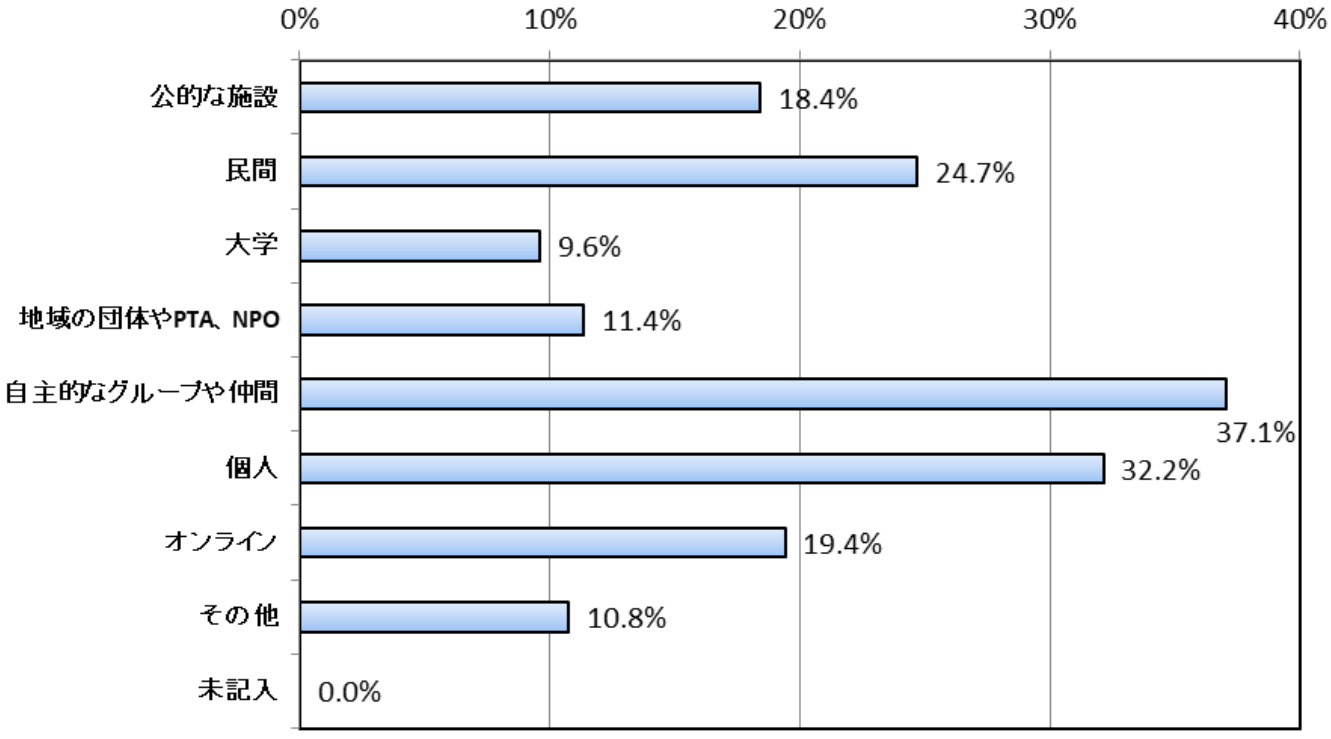
※　生涯学習の方法は、「自主的なグループや仲間」「個人」「民間」と回答した割合が上位である。
※　性･年代別では、20～40代の男性、10・20・40代の女性で「個人」と回答した割合が最も高く、30代の女性では「オンライン」と回答した割合が最も高い。
※　前回調査との比較では、20代以上の女性では「公的な施設」と回答した割合が減少しているが、40代以上の男性では増加している。

生涯学習の方法は、「自主的なグループや仲間」（37.1%）、「個人」（32.2%）、「民間」（24.7%）が上位であり、「オンライン」（19.4%）、「公的な施設」（18.4%）と続いている。

性・年代別で比較すると、「個人」と回答した割合は、20～40代の男性（51.9%、46.2%、36.8%）、10・20・40代の女性（62.5%、60.5%、41.8%）で最も高くなっている。「オンライン」と回答した割合は、30代の女性（41.0%）で最も高く、他の性・年代別でも60代の男性（3.2%）、60・70代以上の女性（6.7%、3.0%）以外はすべて10%以上となっている。

「公的な施設」と回答した割合は、男女ともに、60・70代以上で高くなっている（男性22.6%、36.8%　女性31.1%、31.3%）。

前回調査と比較すると、全体で「個人」と回答した割合が11.2ポイント（21.0%→32.2%）増加している。また、「公的な施設」と回答した割合は、女性では13.6ポイント（前回34.8%→今回21.2%）、全体でも10.1ポイント（前回28.5%→今回18.4%）減少しているが、男性では1.6ポイント（前回12.7%→今回14.3%）増加している。



(%)

問5			a	b	c	d	e	f	g	h
			公的な施設	民間	大学	地域の団体やＰＴＡ、ＮＰＯ	自主的なグループや仲間	個人	オンライン	その他
全体	N＝	510	18.4	24.7	9.6	11.4	37.1	32.2	19.4	10.8
性別	男 n＝	203	14.3	14.3	9.4	9.9	38.9	34.5	20.7	9.9
	女 n＝	302	21.2	32.1	9.9	12.6	36.1	30.5	18.5	11.3
	その他 n＝	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
性・年代別	男10代 n＝	7	0.0	0.0	14.3	0.0	71.4	42.9	14.3	0.0
	男20代 n＝	27	0.0	7.4	18.5	0.0	40.7	51.9	25.9	3.7
	男30代 n＝	39	7.7	7.7	5.1	7.7	41.0	46.2	38.5	7.7
	男40代 n＝	38	7.9	13.2	5.3	10.5	36.8	36.8	18.4	10.5
	男50代 n＝	22	9.1	18.2	0.0	13.6	45.5	31.8	27.3	9.1
	男60代 n＝	31	22.6	12.9	9.7	16.1	29.0	22.6	3.2	19.4
	男70代以上 n＝	38	36.8	28.9	15.8	13.2	34.2	15.8	10.5	10.5
	女10代 n＝	8	0.0	0.0	62.5	0.0	37.5	62.5	25.0	25.0
	女20代 n＝	38	5.3	13.2	21.1	7.9	23.7	60.5	28.9	7.9
	女30代 n＝	39	23.1	17.9	5.1	10.3	30.8	38.5	41.0	10.3
	女40代 n＝	55	16.4	25.5	5.5	14.5	30.9	41.8	23.6	9.1
	女50代 n＝	50	18.0	50.0	12.0	22.0	40.0	28.0	18.0	8.0
	女60代 n＝	45	31.1	46.7	6.7	15.6	46.7	11.1	6.7	4.4
	女70代以上 n＝	67	31.3	37.3	4.5	7.5	40.3	10.4	3.0	20.9
職業別	自営業・自由業 n＝	35	14.3	22.9	11.4	17.1	42.9	34.3	20.0	11.4
	勤め(常勤) n＝	222	9.9	21.2	4.5	10.8	36.9	38.3	27.0	8.6
	パート・アルバイト n＝	66	31.8	27.3	4.5	22.7	30.3	25.8	16.7	15.2
	家事専業 n＝	64	26.6	37.5	1.6	9.4	34.4	26.6	7.8	10.9
	学生 n＝	31	0.0	0.0	58.1	0.0	35.5	54.8	32.3	6.5
	無職 n＝	76	35.5	34.2	11.8	7.9	43.4	18.4	7.9	9.2

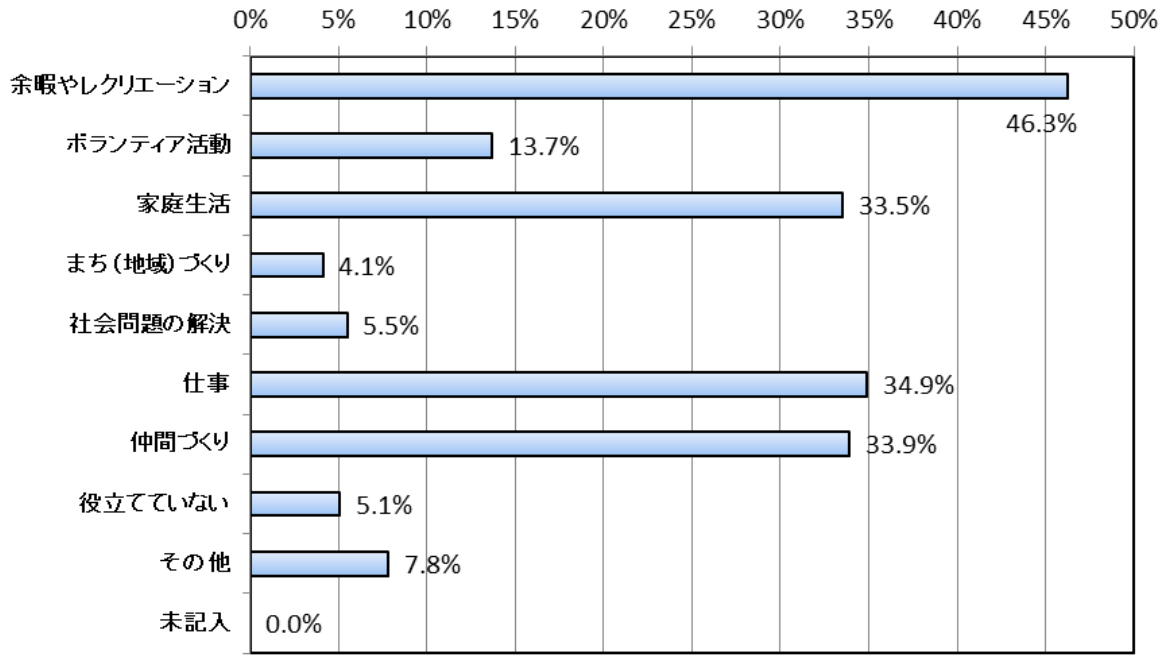
問６　あなたは、生涯学習で得た知識や技能を何に役立てていますか。（複数回答）

※　学んだ知識や技能の生かし方は、「余暇やレクリエーション」「仕事」「仲間づくり」が上位である。
※　性・年代別では、男性で 30・40 代は「仕事」、10・20・50・60 代は「余暇やレクリエーション」と回答した割合が最も高い。女性では「家庭生活」と回答した割合が高く、特に 10・50 代で最も高くなっているが、20 代では男性の方が「家庭生活」と回答した割合が高くなっている。
※　前回調査との比較では、全体で「社会問題の解決」「仕事」「その他」と回答した割合が増加しており、「ボランティア活動」「まち（地域）づくり」「仲間づくり」「役立てていない」と回答した割合は減少している。また、男性で「家庭生活」と回答した割合が増加している。

学んだ知識や技能の生かし方は、「余暇やレクリエーション」（46.3%）、「仕事」（34.9%）、「仲間づくり」（33.9%）が上位である。

性・年代別で比較すると、「仕事」と回答した割合が最も高かったのは、男性では30・40代（59.0%、63.2%）、女性では20代（52.6%）となっている。また、「家庭生活」と回答した割合はほぼ全世代で男性に比べ女性の方が高い割合を示しているが、20代では男性の方が高い割合となっている（男性37.0%、女性28.9%）。

前回調査と比較すると、「社会問題の解決」と回答した割合が全体で1.4ポイント（前回4.1%→今回5.5%）、「仕事」と回答した割合が全体で12.2ポイント（前回22.7%→今回34.9%）増加している。「役立てていない」と回答した割合は全体で減少している（5.4%→5.1%）。また、「家庭生活」と回答した男性の割合は5.7ポイント（前回22.4%→今回28.1%）増加しており、特に50代男性では24.2ポイント（前回16.7%→今回40.9%）と大幅に増加している。



(%)

問6			a 余暇やレクリエーション	b ボランティア活動	c 家庭生活	d まち（地域）づくり	e 社会問題の解決	f 仕事	g 仲間づくり	h 役立てていない	i その他
全体 N=		510	46.3	13.7	33.5	4.1	5.5	34.9	33.9	5.1	7.8
性別	男 n=	203	47.8	12.3	28.1	3.4	5.4	41.4	34.0	5.4	6.9
	女 n=	302	45.0	14.9	37.7	4.6	5.6	31.1	34.1	5.0	7.9
	その他 n=	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
性・年代別	男10代 n=	7	57.1	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0
	男20代 n=	27	51.9	7.4	37.0	0.0	3.7	48.1	37.0	3.7	11.1
	男30代 n=	39	43.6	2.6	35.9	0.0	7.7	59.0	30.8	0.0	0.0
	男40代 n=	38	44.7	13.2	23.7	2.6	0.0	63.2	36.8	0.0	7.9
	男50代 n=	22	68.2	0.0	40.9	0.0	0.0	40.9	31.8	9.1	4.5
	男60代 n=	31	48.4	22.6	12.9	12.9	9.7	25.8	25.8	16.1	12.9
	男70代以上 n=	38	36.8	21.1	23.7	5.3	10.5	13.2	39.5	7.9	7.9
	女10代 n=	8	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0	25.0	37.5	0.0	0.0
	女20代 n=	38	47.4	5.3	28.9	0.0	5.3	52.6	21.1	10.5	5.3
	女30代 n=	39	48.7	7.7	46.2	2.6	2.6	43.6	20.5	2.6	7.7
	女40代 n=	55	54.5	5.5	50.9	3.6	1.8	41.8	29.1	1.8	3.6
	女50代 n=	50	40.0	14.0	42.0	6.0	12.0	38.0	38.0	4.0	8.0
	女60代 n=	45	48.9	24.4	31.1	4.4	11.1	22.2	37.8	4.4	6.7
	女70代以上 n=	67	35.8	26.9	28.4	9.0	3.0	4.5	47.8	7.5	14.9
職業別	自営業・自由業 n=	35	34.3	11.4	28.6	8.6	5.7	45.7	28.6	8.6	2.9
	勤め(常勤) n=	222	48.6	7.7	32.0	1.4	3.6	52.3	27.9	4.1	6.8
	パート・アルバイト n=	66	47.0	19.7	43.9	9.1	9.1	42.4	28.8	1.5	9.1
	家事専業 n=	64	45.3	20.3	40.6	6.3	1.6	6.3	42.2	6.3	7.8
	学生 n=	31	45.2	16.1	32.3	0.0	6.5	19.4	35.5	6.5	6.5
	無職 n=	76	51.3	22.4	28.9	5.3	7.9	3.9	50.0	9.2	7.9

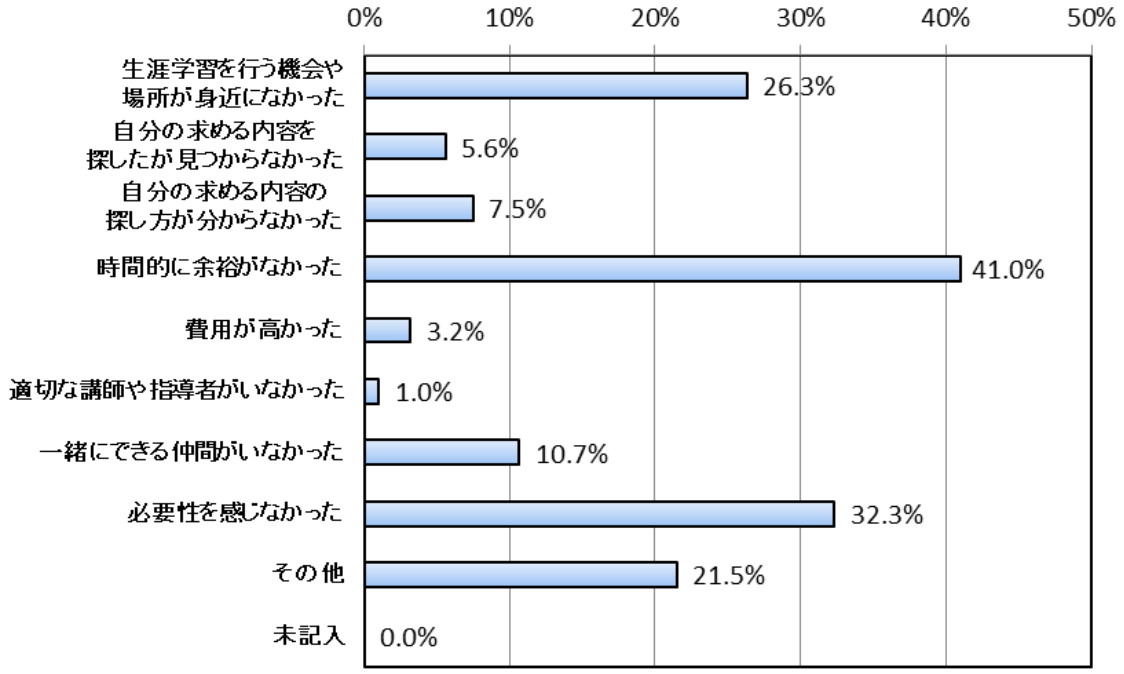
問７　あなたが、この１年間に生涯学習を行わなかったのはなぜですか。（複数回答）

※　生涯学習を行わなかった理由は、「時間的に余裕がなかった」「必要性を感じなかった」「生涯学習を行う機会や場所が身近になかった」が上位であり、その次が「その他」となっている。
※　性・年代別では、20・40・50代の男性、10・30～60代の女性で「時間的に余裕がなかった」、10・30・60・70代以上の男性、70代以上の女性で「必要性を感じなかった」と回答した割合が最も高い。
※　前回調査との比較では、全体で「時間的に余裕がなかった」と回答した割合は減少し、「一緒にできる仲間がいなかった」と回答した割合が増加している。

生涯学習を行わなかった理由は、「時間的に余裕がなかった」（41.0%）、「必要性を感じなかった」（32.3%）、「生涯学習を行う機会や場所が身近になかった」（26.3%）が上位である。また、その次に「その他」（21.5%）となっているが、「その他」のうち、39.6%が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を回答の理由としている。

男女ともほぼ全ての年代で「必要性を感じなかった」（男性39.8%、女性27.8%）、「時間的に余裕がなかった」（男性39.5%、女性42.9%）のどちらかを回答した割合が最も高くなっているが、20代女性では「生涯学習を行う機会や場所が身近になかった」（50.0%）と回答した割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「時間的に余裕がなかった」と回答した割合は、全体で5.7ポイント（前回46.7%→今回41.0%）減少している。内訳をみると、男性で4.5ポイント（前回44.0%→今回39.5%）、女性で5.6ポイント（前回48.5%→今回42.9%）の減少となる。また、「一緒にできる仲間がいなかった」と回答した割合は、全体で1.2ポイント（前回9.5%→今回10.7%）増加しているが、内訳をみると男性が4.3ポイント（前回9.7%→今回14.0%）の増加に対し、女性は0.8ポイント（前回9.4%→今回8.6%）減少している。



(%)

問7			a 生涯学習を行う機会や場所が身近になかった	b 自分の求める内容を探したが見つからなかった	c 自分の求める内容の探し方が分からなかった	d 時間的に余裕がなかった	e 費用が高かった	f 適切な講師や指導者がいなかった	g 一緒にできる仲間がいなかった	h 必要性を感じなかった	i その他
全体 N=		787	26.3	5.6	7.5	41.0	3.2	1.0	10.7	32.3	21.5
性別	男 n=	329	28.0	7.0	9.4	39.5	3.6	1.8	14.0	39.8	16.4
	女 n=	443	25.5	4.7	6.3	42.9	2.7	0.5	8.6	27.8	25.5
	その他 n=	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
性・年代別	男10代 n=	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	男20代 n=	11	36.4	0.0	9.1	72.7	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0
	男30代 n=	42	23.8	7.1	9.5	42.9	9.5	2.4	14.3	52.4	14.3
	男40代 n=	53	37.7	3.8	11.3	52.8	3.8	3.8	15.1	32.1	9.4
	男50代 n=	55	32.7	5.5	12.7	54.5	3.6	0.0	7.3	32.7	12.7
	男60代 n=	78	29.5	11.5	10.3	33.3	3.8	1.3	12.8	35.9	17.9
	男70代以上 n=	97	17.5	5.2	5.2	20.6	0.0	1.0	16.5	44.3	21.6
	女10代 n=	9	33.3	0.0	22.2	66.7	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2
	女20代 n=	26	50.0	3.8	3.8	46.2	0.0	0.0	19.2	7.7	11.5
	女30代 n=	67	25.4	0.0	9.0	47.8	3.0	0.0	9.0	35.8	17.9
	女40代 n=	89	22.5	5.6	5.6	55.1	2.2	2.2	3.4	34.8	16.9
	女50代 n=	77	26.0	7.8	5.2	42.9	1.3	0.0	5.2	19.5	28.6
	女60代 n=	69	27.5	2.9	5.8	40.6	5.8	0.0	7.2	26.1	26.1
	女70代以上 n=	106	19.8	6.6	5.7	28.3	2.8	0.0	13.2	31.1	38.7
職業別	自営業・自由業 n=	73	32.9	4.1	5.5	54.8	2.7	0.0	15.1	26.0	13.7
	勤め(常勤) n=	266	32.7	5.3	8.6	55.6	4.1	0.8	9.4	32.0	13.9
	パート・アルバイト n=	129	25.6	5.4	9.3	50.4	2.3	0.8	8.5	28.7	18.6
	家事専業 n=	100	22.0	6.0	6.0	26.0	5.0	1.0	12.0	31.0	29.0
	学生 n=	14	35.7	7.1	7.1	50.0	0.0	0.0	7.1	14.3	21.4
	無職 n=	177	18.1	7.3	6.2	15.8	2.3	1.7	12.4	40.7	30.5

問８　あなたは、生涯学習に関する情報をどこから得ていますか。（複数回答）

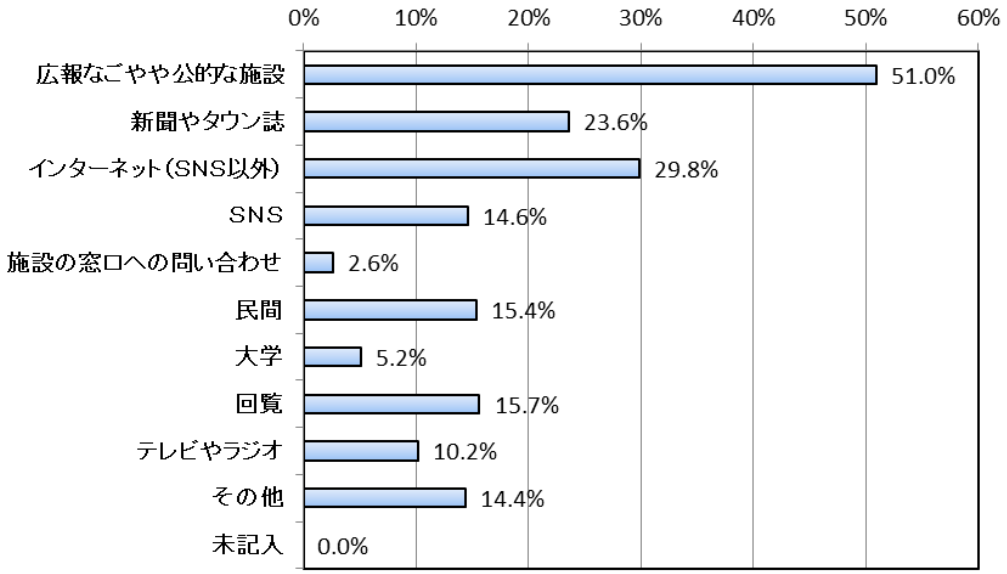
※　生涯学習情報の入手方法は、「広報なごやや生涯学習センターなど公的な施設」「インターネット（ＳＮＳ以外）」「新聞やタウン誌」が上位である。
※　性・年代別では、「広報なごやや生涯学習センターなど公的な施設」「民間」と回答した割合が男性より女性で高くなっている。
※　前回調査との比較では、全体で「テレビやラジオ」と回答した割合が増加し、「広報なごやや生涯学習センターなど公的な施設」と回答した割合が減少している。また、前回「インターネット」と回答した割合より、今回「インターネット（ＳＮＳ以外）」と回答した割合の方が全体で増加しており、今回新しく追加した「ＳＮＳ」の割合も合算すると、60代以上の女性を除くすべての性・年代で大幅に増加している。

生涯学習情報の入手方法は、「広報なごやや生涯学習センターなど公的な施設」（51.0%）、「インターネット（ＳＮＳ以外）」（29.8%）、「新聞やタウン誌」（23.6%）が上位である。

「広報なごやや生涯学習センターなど公的な施設」と回答した割合は、男性（44.0%）に対し女性（56.6%）、「民間」と回答した割合は、男性（10.5%）に対し女性（19.1%）と差が大きくなっている。

前回調査と比較すると、「テレビやラジオ」と回答した割合が6.7ポイント（前回9.0%→今回15.7%）増加し、「広報なごやや生涯学習センターなど公的な施設」と回答した割合が8.9ポイント（前回59.9%→今回51.0%）減少している。

前回まで「インターネット」となっていた選択肢を今回「インターネット（ＳＮＳ以外）」と「ＳＮＳ」の２つに分けて調査を行った。今回「インターネット（ＳＮＳ以外）」「ＳＮＳ」と回答した割合の合算は、前回「インターネット」と回答した割合より14.3ポイント（前回27.1%→今回44.4%）増加している。また、その内訳をみると、男性、女性ともに20代までは「ＳＮＳ」と回答した割合の方が10ポイント以上高くなっている一方、50代以上になると「ＳＮＳ」と回答した割合が大幅に減少している。



(%)

問8			a 広報なごやや生涯学習センターや区役所など公的な施設	b 新聞やタウン誌	c インターネット（ＳＮＳ以外）	d ＳＮＳ	e 施設の窓口への問い合わせ	f 民間	g 大学	h 回覧	i テレビやラジオ	j その他
全体 N=		1297	51.0	23.6	29.8	14.6	2.6	15.4	5.2	15.7	15.7	14.4
性別	男 n=	532	44.0	21.8	34.2	14.5	0.9	10.5	5.3	14.8	14.8	16.7
	女 n=	745	56.6	25.2	27.2	15.2	3.8	19.1	5.0	16.6	16.6	12.9
	その他 n=	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
性・年代別	男10代 n=	10	10.0	10.0	30.0	40.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	20.0
	男20代 n=	38	7.9	5.3	47.4	57.9	0.0	2.6	13.2	0.0	0.0	5.3
	男30代 n=	81	23.5	14.8	54.3	34.6	0.0	4.9	3.7	4.9	4.9	17.3
	男40代 n=	91	40.7	19.8	48.4	12.1	0.0	8.8	1.1	9.9	9.9	14.3
	男50代 n=	77	45.5	23.4	40.3	7.8	1.3	9.1	5.2	7.8	7.8	16.9
	男60代 n=	109	63.3	25.7	22.0	4.6	1.8	12.8	4.6	17.4	17.4	14.7
	男70代以上 n=	135	51.9	27.4	12.6	0.0	1.5	16.3	4.4	30.4	30.4	21.5
	女10代 n=	17	17.6	0.0	5.9	58.8	0.0	0.0	17.6	5.9	5.9	11.8
	女20代 n=	64	23.4	4.7	42.2	53.1	3.1	1.6	14.1	1.6	1.6	4.7
	女30代 n=	106	53.8	16.0	50.0	25.5	0.9	6.6	0.0	9.4	9.4	12.3
	女40代 n=	144	55.6	22.9	38.9	20.1	0.0	22.2	4.2	11.8	11.8	11.1
	女50代 n=	127	59.8	29.1	37.0	5.5	7.1	28.3	10.2	12.6	12.6	15.0
	女60代 n=	114	71.1	35.1	12.3	3.5	2.6	29.8	2.6	22.8	22.8	9.6
	女70代以上 n=	173	63.6	33.5	2.9	1.2	7.5	18.5	1.7	30.6	30.6	18.5
職業別	自営業・自由業 n=	108	49.1	29.6	30.6	13.9	2.8	16.7	2.8	15.7	15.7	13.9
	勤め(常勤) n=	488	40.2	19.3	45.7	22.3	1.4	11.5	3.7	8.4	8.4	14.5
	パート・アルバイト n=	195	64.1	23.6	22.6	9.7	3.1	20.5	3.6	19.0	19.0	10.3
	家事専業 n=	164	68.3	28.7	18.9	7.3	4.9	21.3	3.0	21.3	21.3	11.6
	学生 n=	45	13.3	8.9	24.4	53.3	0.0	4.4	44.4	2.2	2.2	6.7
	無職 n=	253	60.1	28.9	15.4	3.6	2.8	17.0	4.0	24.5	24.5	17.8

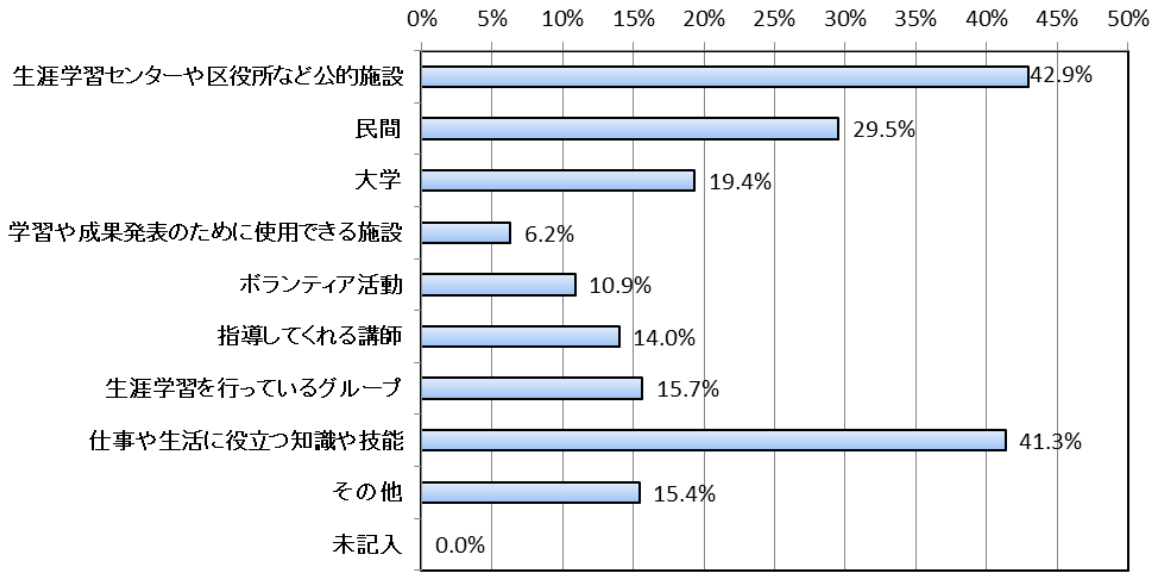
問９　あなたは、生涯学習に関するどのような情報を知りたいですか。（複数回答）

※　希望する生涯学習情報は、「生涯学習センターや区役所など公的施設」で開催される講座や教室の情報、「仕事や生活に役立つ知識や技能」に関する情報、「民間」で開催される講座や教室の情報が上位である。
※　性・年代別では、60・70 代以上男性と 50～70 代以上女性で「生涯学習センターや区役所など公的施設」、20～50 代男性、20～40 代女性で「仕事や生活に役立つ知識や技能」と回答した割合が最も高い。
※　前回調査との比較では、男女ともに「指導してくれる講師」「仕事や生活に役立つ知識や技能」と回答した割合が増加している。

希望する生涯学習情報は、「生涯学習センターや区役所など公的施設」（42.9%）の講座や教室の情報、「仕事や生活に役立つ知識や技能」（41.3%）に関する情報、「民間」（29.5%）の講座や教室の情報が上位である。

性・年代別で比較すると、「生涯学習センターや区役所など公的施設」と回答した割合は、男性（36.5%）より女性（48.1%）の方が高く、特に50～70代以上の女性で割合が最も高くなっている。「民間」と回答した割合も、男性（22.4%）より女性（35.2%）の方が高くなっている。また、「仕事や生活に役立つ知識や技能」と回答した割合は、男女とも高くなっており、特に20～50代男性、20～40代女性で割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「指導してくれる講師」と回答した割合は、50代男性で10.7ポイント（前回8.8%→今回19.5%）増加している。「大学」と回答した割合は、30代男性で13.2ポイント（前回12.7%→今回25.9%）増加している。「民間」と回答した割合は、50代女性で11.1ポイント（前回40.9%→今回52.0%）増加している。「仕事や生活に役立つ知識や技能」と回答した割合は全体で3.3ポイント（前回38.0%→今回41.3%）増加しているが、60代男性では14.4ポイント（前回42.9%→今回28.4%）減少している。また、男女ともに70代以上で「その他」と回答した割合が20ポイント以上増加しており、「情報を必要としていない」といった趣旨の意見が多くあった。



(%)

問9			a 生涯学習センターや区役所など公的施設	b 民間	c 大学	d 学習や成果発表のために使用できる施設	e ボランティア活動	f 指導してくれる講師	g 生涯学習を行っているグループ	h 仕事や生活に役立つ知識や技能	i その他
全体 N＝		1297	42.9	29.5	19.4	6.2	10.9	14.0	15.7	41.3	15.4
性別	男 n＝	532	36.5	22.4	19.5	5.5	11.3	13.7	18.2	42.5	16.7
	女 n＝	745	48.1	35.2	19.5	6.7	10.7	14.6	14.0	41.1	14.5
	その他 n＝	4	50.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0
性・年代別	男10代 n＝	10	10.0	0.0	40.0	20.0	10.0	10.0	30.0	30.0	10.0
	男20代 n＝	38	10.5	13.2	21.1	13.2	10.5	10.5	18.4	50.0	10.5
	男30代 n＝	81	24.7	21.0	25.9	4.9	8.6	17.3	18.5	61.7	8.6
	男40代 n＝	91	40.7	29.7	20.9	6.6	13.2	16.5	19.8	59.3	5.5
	男50代 n＝	77	37.7	24.7	23.4	3.9	6.5	19.5	22.1	45.5	11.7
	男60代 n＝	109	50.5	25.7	21.1	6.4	16.5	13.8	21.1	28.4	13.8
	男70代以上 n＝	135	35.6	17.0	8.1	1.5	9.6	6.7	10.4	24.4	35.6
	女10代 n＝	17	11.8	0.0	35.3	5.9	23.5	23.5	11.8	29.4	11.8
	女20代 n＝	64	26.6	25.0	20.3	12.5	12.5	25.0	17.2	54.7	1.6
	女30代 n＝	106	46.2	40.6	17.0	8.5	9.4	17.0	17.9	54.7	7.5
	女40代 n＝	144	45.8	39.6	18.8	4.9	9.7	15.3	10.4	50.7	8.3
	女50代 n＝	127	62.2	52.0	31.5	7.9	15.7	17.3	16.5	46.5	13.4
	女60代 n＝	114	62.3	39.5	21.1	6.1	11.4	14.0	18.4	33.3	6.1
	女70代以上 n＝	173	42.8	20.2	9.8	4.6	6.4	6.4	8.7	22.0	35.3
職業別	自営業・自由業 n＝	108	40.7	25.9	24.1	4.6	11.1	13.9	14.8	33.3	16.7
	勤め(常勤) n＝	488	40.6	33.6	21.7	6.8	10.9	17.4	19.1	53.3	8.4
	パート・アルバイト n＝	195	52.3	32.3	16.4	5.6	9.2	10.3	10.3	50.3	11.3
	家事専業 n＝	164	51.2	39.6	14.0	9.1	14.0	12.8	12.2	30.5	14.6
	学生 n＝	45	11.1	6.7	46.7	13.3	26.7	15.6	20.0	33.3	4.4
	無職 n＝	253	43.1	19.8	13.8	2.4	8.3	11.5	13.0	26.9	29.6

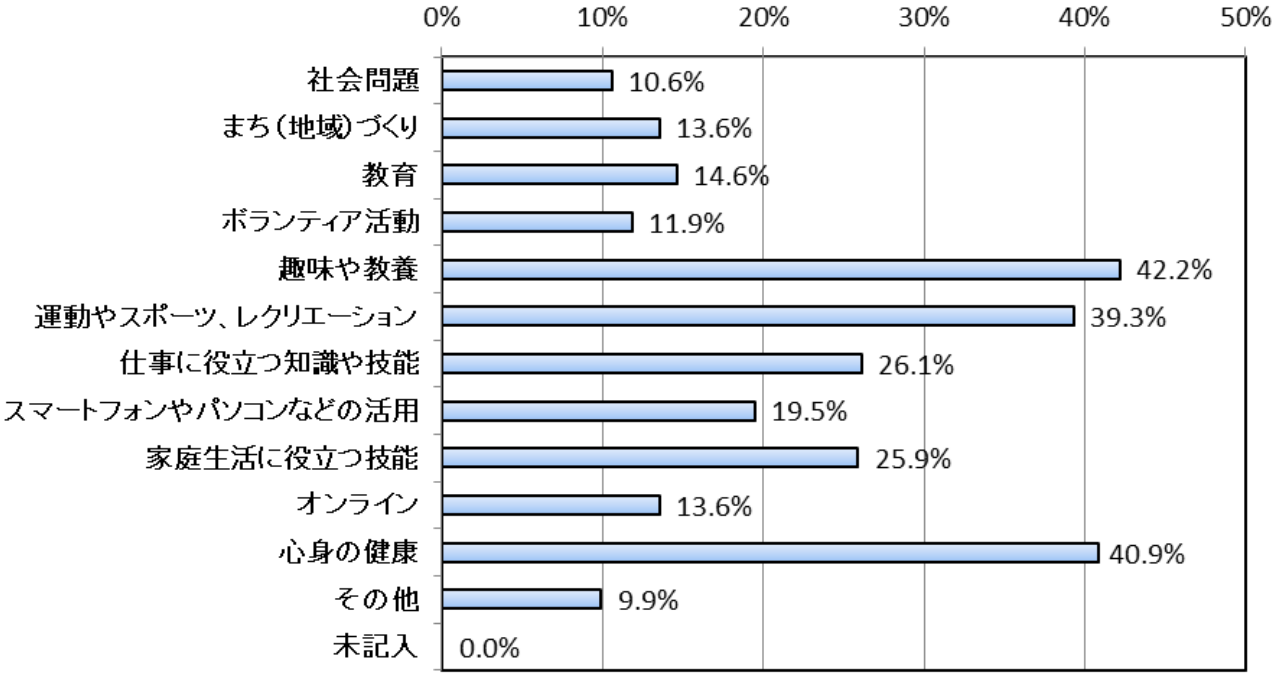
問 10　今後あなたが、行いたい生涯学習の内容は何ですか。（複数回答）

※　希望する生涯学習の内容は、「趣味や教養」「心身の健康」「運動やスポーツ、レクリエーション」が上位である。
※　性・年代別では、10～30代男性で「運動やスポーツ、レクリエーション」、10～30代女性で「趣味や教養」と回答した割合が最も高い。
※　前回調査との比較では、男女ともに「教育」「仕事に役立つ知識や技能」「スマートフォンやパソコンなどの活用」と回答した割合が増加しており、「家庭生活に役立つ知識や技能」「心身の健康」と回答した割合は減少している。

希望する生涯学習の内容は、「趣味や教養」（42.2%）、「心身の健康」（40.9%）、「運動やスポーツやレクリエーション」（39.3%）が上位である。

性・年代別で比較すると、10～30代男性で「運動やスポーツ、レクリエーション」と回答した割合が最も高く、10～30代女性で「趣味や教養」と回答した割合が最も高い。また、４番目に多い回答は、男性は「仕事に役立つ知識や技能」（28.9%）、女性は「家庭生活に役立つ知識や技能」（32.9%）であった。

前回調査と比較すると、「教育」と回答した割合は、全体で1.0ポイント（前回13.6%→今回14.6%）増加しており、男性では2.9ポイント（前回8.0%→今回10.9%）増加している。「家庭生活に役立つ知識や技能」と回答した割合は、全体で3.3ポイント（前回29.2%→今回25.9%）減少しており、特に20代女性では18.0ポイント（前回52.4%→今回34.4%）減少している。



(%)

問10			a 社会問題	b まち（地域）づくり	c 教育	d ボランティア活動	e 趣味や教養	f 運動やスポーツ、レクリエーション	g 仕事に役立つ知識や技能	h スマートフォンやパソコンなどの活用	i 家庭生活に役立つ知識や技能	j オンライン	k 心身の健康	l その他
全体 N=		1297	10.6	13.6	14.6	11.9	42.2	39.3	26.1	19.5	25.9	13.6	40.9	9.9
性別	男 n=	532	11.1	17.1	10.9	11.7	37.4	40.0	28.9	22.0	16.7	13.0	33.5	10.5
	女 n=	745	10.3	11.1	17.6	12.2	46.2	39.1	24.4	18.1	32.9	14.4	46.6	9.3
	その他 n=	4	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
性・年代別	男10代 n=	10	0.0	10.0	10.0	10.0	30.0	40.0	30.0	20.0	0.0	40.0	10.0	0.0
	男20代 n=	38	7.9	13.2	18.4	7.9	44.7	50.0	50.0	42.1	23.7	18.4	28.9	0.0
	男30代 n=	81	9.9	9.9	14.8	7.4	30.9	53.1	44.4	27.2	24.7	22.2	18.5	6.2
	男40代 n=	91	8.8	15.4	27.5	16.5	39.6	45.1	46.2	25.3	18.7	14.3	18.7	5.5
	男50代 n=	77	14.3	20.8	9.1	9.1	46.8	41.6	32.5	18.2	19.5	11.7	39.0	7.8
	男60代 n=	109	11.0	22.0	2.8	14.7	42.2	37.6	15.6	19.3	8.3	8.3	38.5	8.3
	男70代以上 n=	135	12.6	17.0	2.2	10.4	25.9	24.4	8.1	14.1	14.1	6.7	45.9	23.0
	女10代 n=	17	11.8	5.9	17.6	23.5	52.9	35.3	35.3	11.8	17.6	23.5	17.6	11.8
	女20代 n=	64	6.3	7.8	26.6	6.3	51.6	45.3	48.4	17.2	34.4	20.3	29.7	0.0
	女30代 n=	106	11.3	5.7	43.4	10.4	47.2	39.6	39.6	15.1	37.7	23.6	33.0	1.9
	女40代 n=	144	13.2	9.0	22.2	10.4	42.4	45.1	37.5	17.4	36.1	16.7	42.4	6.9
	女50代 n=	127	11.0	14.2	11.8	16.5	52.8	44.1	26.0	25.2	36.2	18.1	54.3	7.9
	女60代 n=	114	8.8	12.3	8.8	14.0	53.5	42.1	10.5	18.4	35.1	8.8	58.8	6.1
	女70代以上 n=	173	9.2	15.0	4.6	11.6	36.4	26.0	2.3	16.2	24.3	4.6	53.8	22.0
職業別	自営業・自由業 n=	108	9.3	13.9	12.0	9.3	45.4	35.2	24.1	17.6	17.6	15.7	40.7	13.0
	勤め(常勤) n=	488	11.3	12.9	18.6	12.1	44.5	48.8	40.2	22.3	26.2	17.2	32.6	4.7
	パート・アルバイト n=	195	11.3	14.4	17.4	10.3	40.5	39.5	31.3	20.5	34.4	12.3	46.7	6.7
	家事専業 n=	164	9.1	12.8	16.5	14.0	46.3	37.8	9.1	12.2	40.2	9.8	51.2	9.8
	学生 n=	45	11.1	13.3	17.8	22.2	48.9	46.7	37.8	20.0	11.1	22.2	26.7	4.4
	無職 n=	253	10.3	14.6	5.1	11.9	36.0	23.3	6.7	19.8	17.0	9.1	48.2	19.0

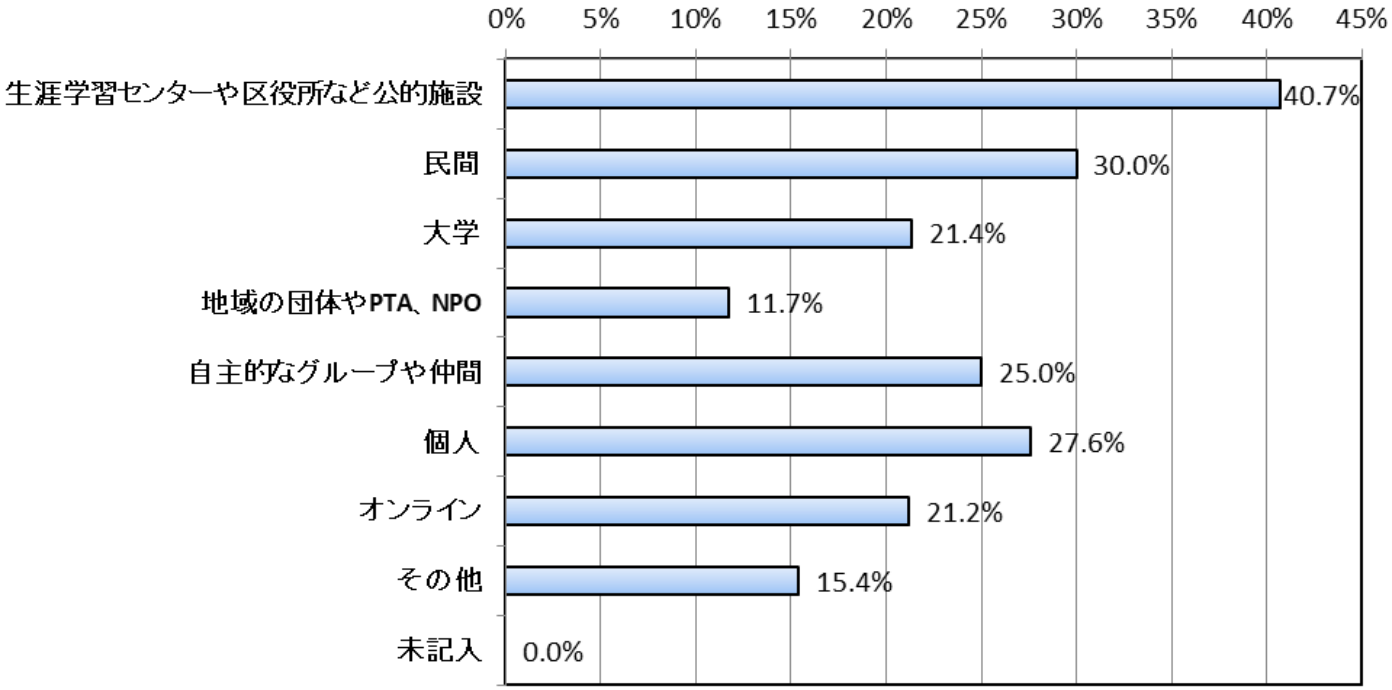
問 11　今後あなたは、どのように生涯学習を行いたいですか。（複数回答）

※　希望する生涯学習の方法は、「公的な施設」「民間」「個人」が上位である。
※　性・年代別では、50～70代以上の男性、30・50～70代以上の女性で「公的な施設」と回答した割合が最も高くなっている（「その他」を除く）。また、「個人」と回答した割合が、10・40代男性、10・20代女性で最も高くなっている。
※　前回調査との比較では、男女ともに「個人」と回答した割合が増加している。また、今回調査で新たに追加した「オンライン」と回答した割合は、10～30代の男女では上位３つ以内に選ばれている。

希望する生涯学習の方法は、「公的な施設」（40.7%）、「民間」（30.0%）、「個人」（27.6%）が上位であるが、男性では２番目に「自主的なグループや仲間」（28.8%）と回答した割合が高くなっている。

性・年代別で比較すると、「公的な施設」と回答した割合は、50～70代以上の男性（41.6%、51.4%、32.6%）、30・50～70代以上の女性（43.4%、55.9%、63.2%、39.3%）で最も高くなっている。一方、「個人」と回答した割合は、10・40代男性（40.0%、35.2%）、10・20女性（41.2%、54.7%）で最も高くなっている。

前回調査と比較すると、「個人」と回答した割合は、全体で5.2ポイント（前回22.4%→今回27.6%）増加している。また、今回調査で新たに追加した「オンライン」と回答した割合は、70代以上の男女（8.1%、4.6%）では少なかったが、それ以外の性・年代では一定数の回答があり、特に、10～30代では男性（30.0%、44.7%、35.8%）、女性（29.4%、31.3%、40.6%）ともに上位３つ以内に選ばれている。



(%)

問11			a 生涯学習センターや区役所など公的施設	b 民間	c 大学	d 地域の団体やＰＴＡ、ＮＰＯ	e 自主的なグループや仲間	f 個人	g オンライン	h その他
全体 N＝		1297	40.7	30.0	21.4	11.7	25.0	27.6	21.2	15.4
性別	男 n＝	532	35.0	20.5	20.5	10.9	28.8	28.0	21.6	15.4
	女 n＝	745	45.2	37.3	22.3	12.6	22.8	27.7	21.5	15.4
	その他 n＝	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0
性・年代別	男10代 n＝	10	10.0	10.0	20.0	10.0	40.0	40.0	30.0	0.0
	男20代 n＝	38	13.2	5.3	26.3	2.6	47.4	39.5	44.7	0.0
	男30代 n＝	81	21.0	22.2	21.0	11.1	37.0	32.1	35.8	7.4
	男40代 n＝	91	34.1	24.2	16.5	11.0	26.4	35.2	24.2	5.5
	男50代 n＝	77	41.6	23.4	26.0	14.3	26.0	31.2	19.5	13.0
	男60代 n＝	109	51.4	25.7	27.5	15.6	25.7	24.8	16.5	11.0
	男70代以上 n＝	135	32.6	14.8	11.1	6.7	20.7	15.6	8.1	36.3
	女10代 n＝	17	17.6	11.8	35.3	0.0	29.4	41.2	29.4	5.9
	女20代 n＝	64	29.7	26.6	21.9	10.9	29.7	54.7	31.3	3.1
	女30代 n＝	106	43.4	38.7	13.2	9.4	18.9	40.6	40.6	3.8
	女40代 n＝	144	40.3	41.7	25.0	16.7	23.6	31.9	26.4	9.7
	女50代 n＝	127	55.9	49.6	37.8	19.7	25.2	22.0	26.0	9.4
	女60代 n＝	114	63.2	44.7	26.3	14.9	22.8	21.9	11.4	15.8
	女70代以上 n＝	173	39.3	25.4	10.4	6.4	19.7	12.7	4.6	37.0
職業別	自営業・自由業 n＝	108	35.2	24.1	23.1	6.5	22.2	25.0	21.3	14.8
	勤め(常勤) n＝	488	40.8	32.4	24.0	15.2	30.9	34.4	30.3	5.5
	パート・アルバイト n＝	195	50.8	31.8	20.5	15.4	19.5	26.7	16.9	16.4
	家事専業 n＝	164	46.3	38.4	15.2	9.8	20.1	20.1	16.5	18.9
	学生 n＝	45	11.1	8.9	51.1	8.9	44.4	37.8	22.2	2.2
	無職 n＝	253	37.9	25.7	15.0	6.3	17.8	20.2	12.6	29.6

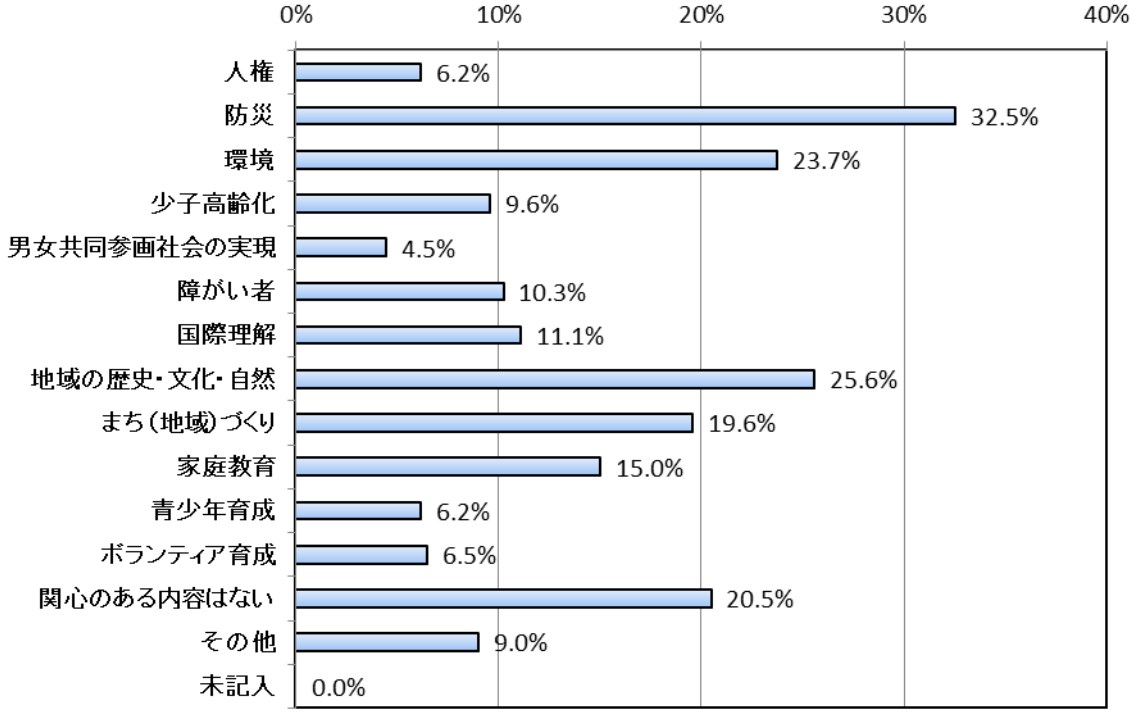
問 12　あなたがお住まいの地域において、関心のある学習内容を選んでください。（複数回答）

※　関心のある地域課題は、「防災」「地域の歴史・文化・自然」「環境」が上位である。
※　性・年代別では、「まち（地域）づくり」と回答した割合は、女性に比べて男性の方が、「家庭教育」と回答した割合は、男性に比べて女性の方が約10ポイント高い。また、「人権」と回答した割合が他の性・年代別に比べ10・20代の女性で高くなっており、特に10代女性では最も割合が高くなっている。
※　前回調査との比較では、男性で「まち（地域）づくり」と回答した割合が増加している。また、「関心のある内容はない」と回答した割合が若年者層を中心に増加している。

関心のある地域課題は、「防災」（32.5%）、「地域の歴史・文化・自然」（25.6%）、「環境」（23.7%）が上位である。

性・年代別で比較すると、「まち（地域）づくり」（男性25.6%、女性15.7%）、「家庭教育」（男性9.6%、女性19.2%）で男性と女性の差が大きくなっている。また、「人権」と回答した割合は男性（5.5%）に比べて女性（6.8%）の方が高くなっており、特に10・20代女性（23.5%、12.5%）で他の性・年代別に比べて高い割合を示している。

前回調査と比較すると、男性で「まち（地域）づくり」と回答した割合が2.2ポイント（前回23.4%→今回25.6%）増加しているが、女性は4.6ポイント（前回20.3%→今回15.7%）減少している。また、「関心のある内容はない」と回答した割合は、全体で5.3ポイント（前回15.2%→今回20.5%）増加している。「男女共同参画社会の実現」と回答した割合は、全体では1.2ポイント（前回3.2%→今回4.5%）増加しているが、男性では0.9ポイント（前回4.5%→今回3.6%）減少している。



(%)

問12		a 人権	b 防災	c 環境	d 少子高齢化	e 男女共同参画社会の実現	f 障がい者	g 国際理解	h 地域の歴史・文化・自然	i まち（地域）づくり	j 家庭教育	k 青少年育成	l ボランティア育成	m 関心のある内容はない	n その他
全体 N=	1297	6.2	32.5	23.7	9.6	4.5	10.3	11.1	25.6	19.6	15.0	6.2	6.5	20.5	9.0
性別	男 n= 532	5.5	32.3	25.2	7.7	3.6	9.4	9.0	29.1	25.6	9.6	6.4	6.0	23.5	8.5
	女 n= 745	6.8	33.4	23.2	11.0	5.2	11.1	12.8	23.4	15.7	19.2	6.0	6.8	18.7	9.3
	その他 n= 4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0
性・年代別	男10代 n= 10	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	60.0	10.0
	男20代 n= 38	2.6	23.7	10.5	10.5	7.9	7.9	7.9	26.3	18.4	7.9	0.0	2.6	42.1	2.6
	男30代 n= 81	4.9	24.7	21.0	8.6	6.2	6.2	13.6	18.5	25.9	24.7	8.6	3.7	27.2	3.7
	男40代 n= 91	4.4	38.5	27.5	9.9	3.3	8.8	7.7	26.4	27.5	24.2	13.2	5.5	19.8	2.2
	男50代 n= 77	6.5	40.3	32.5	6.5	6.5	10.4	9.1	33.8	26.0	3.9	10.4	5.2	23.4	5.2
	男60代 n= 109	5.5	32.1	28.4	5.5	0.9	10.1	8.3	40.4	33.0	1.8	3.7	8.3	20.2	6.4
	男70代以上 n= 135	6.7	28.9	23.0	7.4	1.5	11.1	7.4	25.9	19.3	0.0	2.2	7.4	17.0	20.0
	女10代 n= 17	23.5	11.8	23.5	11.8	5.9	11.8	23.5	17.6	5.9	17.6	5.9	0.0	17.6	5.9
	女20代 n= 64	12.5	32.8	20.3	10.9	15.6	25.0	31.3	21.9	17.2	26.6	10.9	6.3	10.9	3.1
	女30代 n= 106	6.6	34.9	17.0	12.3	5.7	10.4	11.3	19.8	15.1	48.1	13.2	7.5	19.8	2.8
	女40代 n= 144	3.5	27.8	18.8	6.9	6.3	9.7	14.6	20.8	13.9	25.7	4.9	7.6	25.7	4.9
	女50代 n= 127	7.1	40.2	26.0	19.7	4.7	15.0	15.0	22.8	22.8	11.0	7.1	11.0	17.3	6.3
	女60代 n= 114	7.9	42.1	33.3	7.0	3.5	11.4	8.8	31.6	14.9	6.1	3.5	3.5	18.4	7.0
	女70代以上 n= 173	5.2	28.9	23.1	9.8	1.7	4.6	5.2	23.7	13.3	8.1	1.7	5.8	16.2	23.1
職業別	自営業・自由業 n= 108	4.6	30.6	25.9	16.7	3.7	9.3	7.4	19.4	24.1	13.0	7.4	8.3	16.7	11.1
	勤め(常勤) n= 488	5.9	34.4	23.2	9.4	5.1	8.6	15.0	28.1	23.2	18.9	9.2	6.4	20.7	4.5
	パート・アルバイト n= 195	7.7	34.9	25.1	8.7	4.6	14.4	9.2	24.1	18.5	19.5	6.2	5.6	23.1	4.6
	家事専業 n= 164	3.0	31.7	24.4	6.7	3.7	14.0	9.8	25.0	14.6	21.3	4.3	9.1	15.2	12.2
	学生 n= 45	8.9	24.4	17.8	13.3	8.9	11.1	17.8	26.7	13.3	6.7	6.7	4.4	24.4	6.7
	無職 n= 253	6.3	29.2	23.3	8.3	2.8	7.9	6.3	27.7	17.0	3.2	1.2	4.7	22.9	16.2

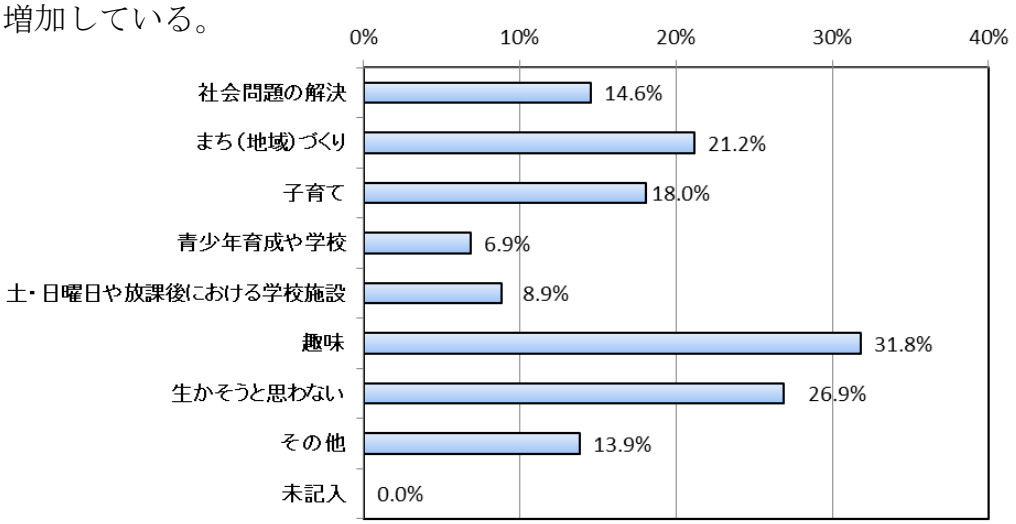
問13　今後、生涯学習で得た知識や技能をどのような活動で生かしてみたいですか。（複数回答）

※　今後の学習成果の生かし方は、「趣味」「生かそうと思わない」「まち（地域）づくり」が上位であり、次に「子育て」と続いている。
※　性・年代別では、男性では上位３つは同じであるが、次に「社会問題の解決」と回答した割合が高く、女性では上位２つは同じで、その次に「子育て」「まち（地域）づくり」と続く。また、男女ともに30代では「子育て」と回答した割合が他の年代よりも大幅に高くなっている。
※　前回調査との比較では、男女とも全年代で「生かそうと思わない」と回答した割合が増加しており、特に20・30代男性、30代女性では10ポイント以上増加している。また、20代女性では、「子育て」「青少年育成や学校」「趣味」と回答した割合が10ポイント以上減少しているが、逆に「社会問題の解決」と回答した割合は10ポイント以上増加している。

今後の学習成果の生かし方は、「趣味」（31.8％）、「生かそうと思わない」（26.9％）、「まち（地域）づくり」（21.2％）、「子育て」（18.0％）が上位である。

性・年代別で比較すると、男性では上位３つは同じだが、次に「社会問題の解決」（16.0％）と回答した割合が高くなっており、女性では上位２つは同じだが、次に「子育て」（22.4％）、「まち（地域）づくり」（17.7％）と続いている。また、「子育て」と回答した割合は、30代で男女（32.1％、43.4％）ともに、他の年代よりも10ポイント以上高くなっている（年代別で「子育て」と回答した割合が２番目に高いのは、男性で40代（22.0％）、女性で20代（31.3％）となっている）。

前回調査と比較すると「趣味」と回答した割合は全体で4.0ポイント（前回35.8％→今回31.8％）減少しているのに対し、「生かそうと思わない」と回答した割合は5.9ポイント（前回21.0％→今回26.9％）増加している。また、20代女性では、「子育て」11.6ポイント（前回42.9％→今回31.3％）、「青少年育成や学校」12.8ポイント（前回17.5％→今回4.7％）、「趣味」13.4ポイント（前回55.6％→今回42.2％）と回答した割合が減少している一方、「社会問題の解決」と回答した割合は10.8ポイント（前回9.5％→今回20.3％）増加している。



(%)

問13			a 社会問題の解決	b まち（地域）づくり	c 子育て	d 青少年育成や学校	e 土・日曜日や放課後における学校施設	f 趣味	g 生かそうと思わない	h その他
全体 N＝		1297	14.6	21.2	18.0	6.9	8.9	31.8	26.9	13.9
性別	男 n＝	532	16.0	26.5	12.2	7.7	9.6	34.0	27.8	11.3
	女 n＝	745	14.0	17.7	22.4	6.3	8.3	30.9	26.7	15.7
	その他 n＝	4	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0
性・年代別	男10代 n＝	10	10.0	20.0	10.0	10.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	男20代 n＝	38	13.2	18.4	15.8	5.3	10.5	42.1	34.2	2.6
	男30代 n＝	81	12.3	23.5	32.1	8.6	11.1	37.0	30.9	4.9
	男40代 n＝	91	16.5	26.4	22.0	7.7	11.0	36.3	23.1	4.4
	男50代 n＝	77	20.8	26.0	10.4	13.0	11.7	46.8	20.8	3.9
	男60代 n＝	109	18.3	33.9	0.9	8.3	10.1	29.4	30.3	11.9
	男70代以上 n＝	135	13.3	23.0	2.2	3.7	4.4	20.7	28.1	25.9
	女10代 n＝	17	17.6	11.8	23.5	5.9	17.6	23.5	29.4	5.9
	女20代 n＝	64	20.3	12.5	31.3	4.7	14.1	42.2	17.2	6.3
	女30代 n＝	106	7.5	8.5	43.4	6.6	10.4	31.1	29.2	9.4
	女40代 n＝	144	16.0	13.9	30.6	8.3	7.6	34.0	27.8	7.6
	女50代 n＝	127	18.1	26.0	21.3	11.8	10.2	37.0	25.2	11.0
	女60代 n＝	114	14.9	25.4	12.3	5.3	7.0	28.9	28.1	14.9
	女70代以上 n＝	173	9.8	17.9	6.9	1.7	4.0	21.4	27.7	34.7
職業別	自営業・自由業 n＝	108	18.5	22.2	14.8	9.3	3.7	27.8	26.9	16.7
	勤め(常勤) n＝	488	17.2	23.4	22.5	8.4	11.7	36.5	25.6	5.7
	パート・アルバイト n＝	195	15.9	20.0	22.1	10.3	9.2	32.3	25.6	13.8
	家事専業 n＝	164	3.7	16.5	23.8	3.7	9.8	30.5	26.2	17.7
	学生 n＝	45	17.8	17.8	17.8	6.7	20.0	57.8	13.3	4.4
	無職 n＝	253	13.4	19.8	5.9	2.8	2.8	22.9	34.4	24.5

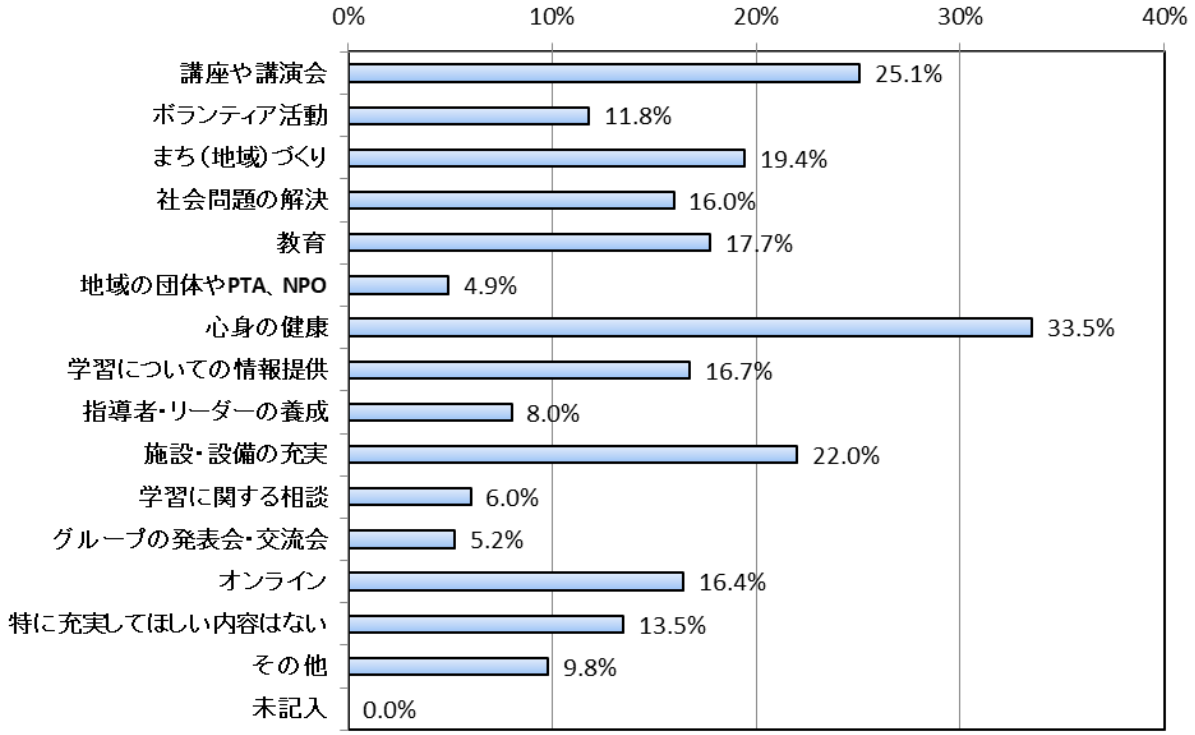
問 14　名古屋市では、生涯学習センターでみなさんの生涯学習に対する支援を行っています。今後、さらに充実してほしい内容を選んでください。（複数回答）

※　公的施設に期待する内容は、「心身の健康」「講座や講演会」「施設・設備の充実」「まち（地域）づくり」が上位である。
※　性・年代別では、「まち（地域）づくり」と回答した割合は女性よりも男性が高く、「教育」と回答した割合は男性より女性の方が高い。特に、50・60代男性で「まち（地域）づくり」、20・30代女性で「教育」と回答した割合が最も高くなっている。
※　前回調査との比較では、30代女性で「教育」と回答した割合が10ポイント以上増加している。また、30・40代男性、70代以上女性で「学習についての情報提供」、40～60代男性で「施設・設備の充実」と回答した割合が増加している。

公的施設に期待する内容は、「心身の健康」（33.5%）、「講座や講演会」（25.1%）、「施設・設備の充実」（22.0%）、「まち（地域）づくり」（19.4%）が上位である。

性・年代別で比較すると「まち（地域）づくり」と回答した割合は女性（16.4%）より男性（24.2%）が高く、特に50・60代男性（29.9%、29.4%）で最も高くなっている。また、「教育」と回答した割合は男性（11.5%）より女性（22.6%）が高く、特に20・30代女性（37.5%、55.7%）で最も高くなっている。

前回調査と比較すると、30代女性で「教育」と回答した割合が11.0ポイント（前回44.7%→今回55.7%）増加している。また、今回調査で新たに追加した「心身の健康」（33.5%）と回答した割合は、全体で最も高く、特に50～70代以上の男女（男性29.9%、29.4%、33.3%、女性56.7%、47.4%、48.6%）で高くなっている。



問14

(%)

		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
		講座や講演会	ボランティア活動	まち（地域）づくり	社会問題の解決	教育	地域の団体やPTA、NPO	心身の健康	学習についての情報提供	指導者・リーダーの養成	施設・設備の充実	学習に関する相談	グループの発表会・交流会	オンライン講座	特に充実してほしい内容はない	その他
全体 N=	1297	25.1	11.8	19.4	16.0	17.7	4.9	33.5	16.7	8.0	22.0	6.0	5.2	16.4	13.5	9.8
性別	男 n= 532	22.2	11.7	24.2	16.7	11.5	3.9	26.3	17.5	9.2	22.9	6.4	3.4	16.2	16.9	11.1
性別	女 n= 745	27.5	12.1	16.4	15.8	22.6	5.6	39.2	16.2	7.4	21.7	5.9	6.6	17.0	11.4	8.7
性別	その他 n= 4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
性・年代別	男10代 n= 10	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	40.0	10.0	0.0	10.0	40.0	0.0
性・年代別	男20代 n= 38	13.2	5.3	13.2	15.8	18.4	5.3	21.1	21.1	7.9	18.4	7.9	0.0	18.4	34.2	0.0
性・年代別	男30代 n= 81	17.3	7.4	18.5	12.3	16.0	6.2	13.6	22.2	14.8	29.6	4.9	4.9	25.9	19.8	8.6
性・年代別	男40代 n= 91	23.1	17.6	26.4	14.3	23.1	3.3	22.0	26.4	14.3	29.7	15.4	5.5	19.8	13.2	8.8
性・年代別	男50代 n= 77	27.3	10.4	29.9	19.5	14.3	3.9	29.9	14.3	10.4	26.0	5.2	3.9	20.8	19.5	2.6
性・年代別	男60代 n= 109	22.9	13.8	29.4	22.0	3.7	4.6	29.4	20.2	6.4	23.9	5.5	4.6	11.0	11.9	9.2
性・年代別	男70代以上 n= 135	22.2	10.4	21.5	15.6	3.7	2.2	33.3	7.4	3.7	10.4	1.5	0.7	8.1	12.6	23.7
性・年代別	女10代 n= 17	5.9	11.8	5.9	17.6	23.5	0.0	17.6	11.8	5.9	23.5	5.9	5.9	17.6	29.4	5.9
性・年代別	女20代 n= 64	14.1	12.5	12.5	10.9	37.5	9.4	26.6	23.4	9.4	26.6	9.4	10.9	26.6	9.4	4.7
性・年代別	女30代 n= 106	19.8	9.4	17.0	16.0	55.7	5.7	23.6	21.7	8.5	16.0	9.4	3.8	30.2	10.4	3.8
性・年代別	女40代 n= 144	27.1	8.3	9.0	13.2	25.0	4.9	25.7	20.1	10.4	24.3	9.0	3.5	20.8	14.6	3.5
性・年代別	女50代 n= 127	40.9	18.1	25.2	18.9	15.7	10.2	56.7	16.5	10.2	27.6	6.3	7.1	22.0	7.1	7.9
性・年代別	女60代 n= 114	36.8	10.5	24.6	23.7	12.3	5.3	47.4	15.8	3.5	20.2	2.6	4.4	9.6	10.5	7.9
性・年代別	女70代以上 n= 173	23.7	13.3	12.7	12.1	6.4	2.3	48.6	7.5	4.0	17.9	1.7	10.4	3.5	12.1	19.1
職業別	自営業・自由業 n= 108	25.0	15.7	16.7	14.8	13.0	4.6	33.3	13.9	11.1	22.2	4.6	6.5	17.6	9.3	11.1
職業別	勤め(常勤) n= 488	25.4	11.3	22.1	15.0	21.7	5.9	27.9	19.7	11.1	24.8	6.8	4.3	23.2	14.8	6.1
職業別	パート・アルバイト n= 195	25.6	10.8	22.6	21.5	21.5	6.7	36.9	18.5	7.2	21.0	7.7	2.6	15.9	10.3	7.2
職業別	家事専業 n= 164	23.8	12.2	14.0	14.0	26.2	5.5	39.0	15.9	4.9	23.2	4.9	9.8	14.6	11.6	9.1
職業別	学生 n= 45	13.3	13.3	8.9	13.3	13.3	4.4	20.0	20.0	11.1	24.4	11.1	6.7	11.1	26.7	2.2
職業別	無職 n= 253	26.5	11.1	18.6	15.8	5.9	2.4	41.5	11.9	3.6	15.4	4.0	4.7	8.3	13.4	17.4

Ⅳ　調査結果のまとめと今後の方向性

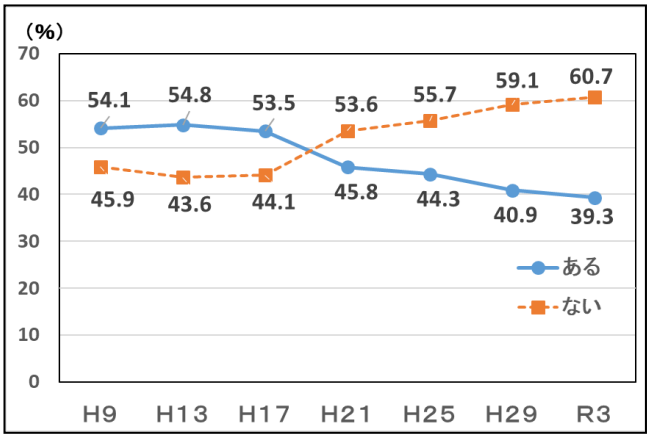
1　調査結果のまとめ

今回の調査を行った結果、「調査の結果と分析」でも述べてきたように、次のような傾向が明らかになった。

(1)　生涯学習の経験の減少

過去１年間に生涯学習を行ったことが「ある」と回答した市民の割合は、前回調査と比較すると、1.6ポイント減少している。「ある」と「ない」の差がさらに広がるとともに、調査開始以来初めて40%を下回った。

生涯学習を行わなかった理由については、「時間的に余裕がなかった」「必要性を感じなかった」「生涯学習を行う機会や場所が身近になかった」が上位であった。「時間的に余裕がなかった」は４調査連続で減少している。また、「必要性を感じなかった」は微増、「身近に生涯学習を行う機会や場所がなかった」は、微減であった。なお、「その他」と回答した人の54%が新型コロナウイルス感染症の影響を理由としていた。

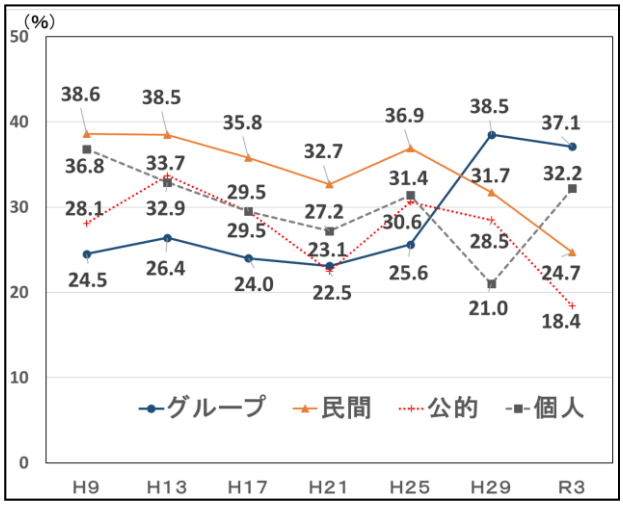


問２「１年間の生涯学習の経験」

(2)　公的な施設に対する期待

生涯学習の方法では、「個人」と回答した割合が前回調査と比べて11.2ポイント増加した以外は、すべての項目が減少した。また、今回から新たに設定した「オンライン」と回答した割合が全体で４番目に多いことと合わせ、集団での学びよりも個人での学びを希望する傾向がみられた。ここでも、新型コロナウイルスの影響が大きいことが推察される。

しかし、生涯学習情報の入手方法では「広報なごやや、公的な施設のパンフレット・チラシ」、希望する生涯学習情報では「公的な施設で開催される講座や教室の情報」、希望する生涯学習の方法では「公的な施設で開催される講座や教室」と回答した割合が、それぞれ他の項目と比較して高くなっている。公的な施設への期待が高く、アフターコロナの社会へ向け、公的な施設に求められる役割はなお大きいことがうかがえる。



問５「生涯学習の方法」

(3)　地域課題についての関心

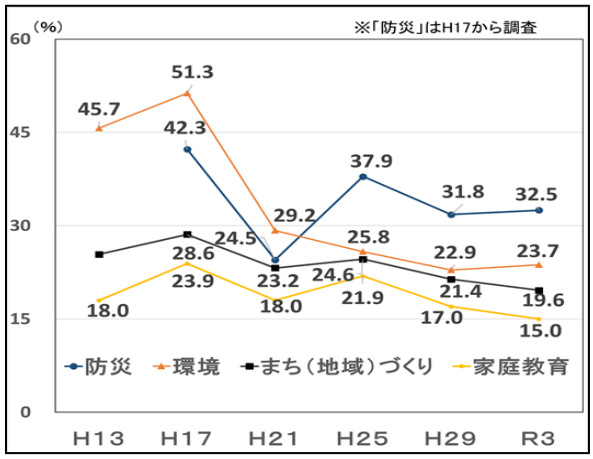
関心のある地域課題の上位は、「防災」「地域の歴史・文化・自然」「環境」で前回調査と同じであり、大きな傾向の変化は見られなかったが、「関心のある内容はない」と回答した割合が、他の項目に比較して増加している。

生涯学習を行った内容は、「趣味や教養」「仕事や生活に役立つ知識や技能」「スマートフォンやパソコンなどの活用」「心身の健康」と回答した割合は増加

しているが、その他の項目は減少している。

希望する生涯学習の内容においては、上位は「趣味や教養」「心身の健康」「運動やスポーツ、レクリエーション」と前回調査とほぼ同様の結果であるが、「教育」「仕事の役立つ知識や技能」「スマートフォンやパソコンの活用」と回答した割合は増加している。

生涯学習を行った目的においては、「教養」や「仕事」と回答した割合が大幅に増加している。

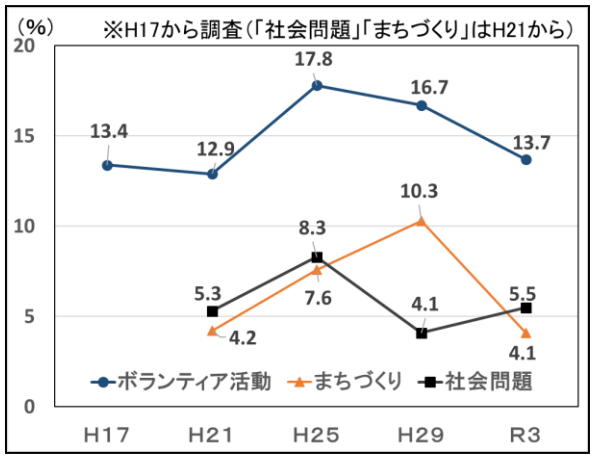


問 12「関心のある地域課題」

(4) 学習成果還元への意欲

学習成果の生かし方は、「余暇やレクリエーション」「仕事」「仲間づくり」と回答した割合が上位を占めており、特に「仕事」と回答した割合が大幅に増加している。上位の次には「家庭生活」と回答した割合が高く、特に男性は前回調査と比較して増加している。また、「社会問題の解決」と回答した割合が、前回調査と比較して増加している。

今後の学習成果の生かし方は、「まち（地域）づくり」「社会問題の解決」と回答した割合が前回調査と比較して増加している。また、「生かそうと思わない」と回答している市民は５調査連続で増加している。



問６「学習成果の生かし方」

(5) 10代の意識・動向

令和４年４月から成人年齢が引き下げられることを受け、今回調査より対象年齢を、それまでの「20歳以上」から「18歳以上」に変更した。そこから見えてきた10代の生涯学習に対する意識・動向としては、過去１年間に生涯学習を行ったことが「ある」と回答した割合は55.6%であり、全体を大幅に上回っていた。

生涯学習の方法については、「大学」46.7%、「自主的なグループや仲間」53.3%、「個人」53.3%が全体を大幅に上回っている一方、「公的な施設」「民間」と回答した割合は０%であった。また、生涯学習情報の入手方法では「インターネット（ＳＮＳ以外）」と回答した割合が14.8%（全体の半分程度）であるのに対し、「ＳＮＳ」と回答した割合は51.9%（全体の3.5倍以上）であった。さらに「大学」と回答した割合も22.2%と全体の割合を大きく上回っており、他の年代とは傾向に明らかな違いが見られた。

生涯学習を行った内容については、「家庭生活に役立つ知識や技能」と回答した割合が20.0%（全体は10.8%）と全体の割合を大きく上回った以外は、他の年代と傾向の変化はほぼ見られなかった。希望する生涯学習の内容については、「オンライン」35.0%（全体は13.6%）、「仕事に役立つ知識や技能」33.3%（全体は26.1%）、「ボランティア活動」18.5%（全体は11.9%）と回答した割合が全体と比較して違いが見られた。

２　今後の方向性

以上述べてきたような市民の学習状況や学習志向を踏まえ、今後の生涯学習施策を推進していく上での方向性を次のように考える。

(1)　公的施設を利用して学びのきっかけを得る市民の姿を引き出すために

過去１年間に生涯学習を行ったことが「ある」と回答した市民の割合は、５調査連続の減少となった。前回調査からの変動値は小さく、新型コロナウイルス感染症の影響を考えた時この結果をどう判断するかは難しい。しかし、これまで生涯学習を行っていない市民に対し学びのきっかけを提供していくことは、引き続き課題である。

今後の生涯学習情報の入手方法や希望する生涯学習の内容において、公的施設に寄せられる期待は大きく、公的施設でのアフターコロナを見すえた学びの提供が重要となる。これまで生涯学習を行っておらず、これから学び始めたい市民に対しては、気軽にセンターの講座・事業に参加することができるような工夫が必要である。特に基本計画ではセンターの利用者が高齢者中心になっていることが課題として上がっており、地域の世代間交流を促進する意味でも、生涯学習の方法として公的な施設を利用する割合が低い若年者層への働きかけが重要となる。

そこで、若年者層の生涯学習に関する情報の入手方法として特徴的な「ＳＮＳ」「大学」などでの情報発信を一層活用していくことや、関心の高い「運動やスポーツ、レクリエーション」「仕事に役立つ知識や技能」「ボランティア活動」などの内容を、同世代が受けやすい曜日や時間帯に行うなど、若年者層のニーズに合った学習機会を提供していくことが大切であると考える。

(2)　様々な形で学びを深め活躍し続けられる市民の姿を引き出すために

今回調査では「生涯学習の方法（以下、「方法」）」「希望する生涯学習の内容（以下、「希望内容」）」「希望する生涯学習の方法（以下、「希望方法」）」の３つの質問で、オンラインに関わる回答を新たに設定した。それぞれ、「オンライン」と回答した割合は「方法」19.4％、「希望内容」13.6％、「希望方法」21.2％と一定の割合となった。しかし、年齢層で割合を求めると、10・20代の若年者層と60・70代以上の高齢者層では、「方法」（23.3％、5.5％）、「希望内容」（21.7％、6.8％）、「希望方法」（34.9％、9.4％）と大きな開きがあり、本市生涯学習においても、デジタル・ディバイドの実態が明らかとなった。

センターは生涯学習の振興を図るとともに、市民の交流と地域活動の発展に資するために設置されており（名古屋市生涯学習センター条例第１条）、これまで同様の対面による「つながり」はなお重要である。その一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、本市生涯学習課の講座・事業でもオンラインで開催するものが少しずつ増えており、人生100年時代の新たな「つながり」として、オンラインの重要性が増している。また、第10期議論の整理では、学習履歴の可視化など生涯学習の場において、ＩＣＴ等の活用が進むことのメリットも述べられている。今後は、対面、オンラインを問わず、学びたい市民が、学びたい形で学びを深め活躍し続けられるよう、オンラインでの学び方を学習する講座・事業を行うなど、オンラインを苦手とする市民に対する支援が必要であると考える。

使　用　調　査　票

整理番号（インターネット回答用）

生涯学習に関する意識調査

名古屋市教育委員会

名古屋市では、市民の皆様の生涯学習を支援するため、公的な社会教育施設において、講座や講演会を開催するなど、様々な事業を展開してきました。今回の調査は、名古屋市が行ってきた生涯学習に関わる事業が、皆様にどの程度役立っているか、また、皆様がどのようなご要望をおもちか知るための調査です。皆様のお答えをもとに、今後の事業展開に役立てていきます。ご協力をお願いします。なお、この調査は、無作為に抽出した市内にお住まいの18歳以上の方4,000名にお願いしています。

生涯学習とは…
一人ひとりが自分の人生を楽しく豊かにするために、生涯のいろいろな時期に、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味的な活動などの様々な活動のことをいいます。

問 合 せ:名古屋市教育委員会生涯学習課分室　〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目1番4号 名古屋市教育館6階
電話 052-950-5031 FAX052-950-5041

個人情報の取り扱いについて
本調査は、名古屋市個人情報保護条例に基づき行っています。住所、氏名、回答内容などの個人情報は厳重に管理し、本調査以外の目的には一切使用いたしません。

ご記入方法:選択肢の中からあなたの現状やお考えに近いものを選び、記号後ろの□内に✔をお書きください。「その他」を選択した際に［　　］がある場合は、具体的な内容をご記入ください。　記入例: a☑男性 b□女性 c□その他

問1 あなたの性別、年齢、職業、居住区をお答えください。(それぞれ当てはまるもの一つ選び、✔を書いてください)

(1)性別	a□男性 b□女性 c□その他 ※ご自身の性自認に基づいて回答ください。	(3)職業	a□自営業・自由業 b□勤め(常勤) c□パート・アルバイト d□家事専業 e□学生 f□無職 g□その他(　　)
(2)年齢 (令和3年9月1日現在)	a□10代 b□20代 c□30代 d□40代 e□50代 f□60代 g□70代以上	(4)居住区	a□千種区 b□東区 c□北区 d□西区 e□中村区 f□中区 g□昭和区 h□瑞穂区 i□熱田区 j□中川区 k□港区 l□南区 m□守山区 n□緑区 o□名東区 p□天白区

問2 あなたは、この1年間に、生涯学習(学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味的な活動)を行ったことがありますか。(a、bのいずれかに○)

a□はい → 問3へ　　b□いいえ → 裏面の問7へ

【問2で「a はい」と答えた方のみにお尋ねします。】

問3 あなたは、どのような内容の生涯学習を行いましたか。
(✔はいくつでも)
a□人権、防災、環境、少子高齢化、男女共同参画など社会問題に関するもの
b□地域の魅力発見や地域活性化などまち(地域)づくりに関するもの
c□子育てや家庭教育、青少年育成など教育に関するもの
d□ボランティア活動に関するもの
e□音楽、美術、文学、歴史など趣味や教養に関するもの
f□運動やスポーツ、レクリエーションに関するもの
g□仕事に役立つ知識や技能に関するもの
h□スマートフォンやパソコンなどの活用に関するもの
i□衣食住など家庭生活に役立つ知識や技能に関するもの
j□健康法や医学など心身の健康に関するもの
k□その他［　　］

問4 あなたが生涯学習を行う目的は何ですか。
(✔はいくつでも)
a□人権、防災、環境、少子高齢化、男女共同参画など社会問題の解決のため
b□地域の魅力発見や地域活性化などまち(地域)づくりの活動のため
c□家庭生活をよりよくするため
d□学習成果を生かすため
e□生きがいを見つけるため
f□教養を高めるため
g□余暇を有意義に過ごすため
h□仕事に役立てるため
i□健康法や医学など心身の健康を図るため
j□友達づくりや仲間づくり、交流のため
k□その他［　　］

(右上へ続く)

(左下から続く)

問5 あなたは、どのように生涯学習を行いましたか。
(✔はいくつでも)
a□生涯学習センターや区役所など公的な施設で開催された講座や教室への参加
b□カルチャーセンターや文化教室など民間で開催された講座や教室への参加
c□大学で開催された講座や教室への参加
d□地域の団体やPTA、NPOなどが行う学習や活動への参加
e□自主的なグループや仲間との学習や活動
f□自宅や図書館などで行う個人による学習や活動
g□配信やリモートなどオンラインの講座や教室への参加
h□その他［　　］

問6 あなたは、生涯学習で得た知識や技能を何に役立てていますか
(✔はいくつでも)
a□余暇やレクリエーション
b□ボランティア活動
c□家庭生活
d□まち(地域)づくりに関わる活動
e□社会問題の解決を目指した活動
f□仕事
g□仲間づくり
h□役立てていない
i□その他［　　］

→裏面の問8～問14の質問にお答えください。

【問2で「b いいえ」と答えた方のみにお尋ねします。】

問7 あなたが、この1年間に生涯学習を行わなかったのはなぜですか。
（✔はいくつでも）
a□生涯学習を行う機会や場所が身近になかった
b□自分の求める内容を探したが見つからなかった
c□自分の求める内容の探し方が分からなかった
d□時間的に余裕がなかった
e□費用が高かった
f□適切な講師や指導者がいなかった
g□一緒に活動をする仲間がいなかった
h□行う必要性を感じなかった
i□その他

→下の問8～問14の質問にお答えください。

【全員の方にお尋ねします。】

問8 あなたは、生涯学習に関する情報をどこから得ていますか。
（✔はいくつでも）
a□広報なごやや、生涯学習センターや区役所などの公的な施設のパンフレット・チラシなど
b□新聞やタウン誌
c□インターネット（SNSを除くホームページなど）
d□ＳＮＳ
e□施設の窓口への問い合わせ
f□カルチャーセンターや文化教室など民間施設のパンフレット・チラシなど
g□大学が発行するパンフレット・チラシなど
h□町内会、自治会などの回覧
i□テレビやラジオ
j□その他

問9 あなたは、生涯学習に関するどのような情報を知りたいですか。
（✔はいくつでも）
a□生涯学習センターや区役所などの公的な施設で開催される講座や教室の情報
b□カルチャーセンターや文化教室など民間で開催される講座や教室の情報
c□大学で開催される講座や教室の情報
d□学習や成果発表のために使用できる施設の情報
e□ボランティア活動に関する情報
f□指導してくれる講師の情報
g□生涯学習を行っているグループの情報
h□仕事や生活に役立つ知識や技能に関する情報
i□その他

問10 今後あなたが行いたい生涯学習の内容は何ですか。
（✔はいくつでも）
a□人権、防災、環境、少子高齢化、男女共同参画など社会問題に関するもの
b□地域の魅力発見や地域活性化などまち（地域）づくりに関するもの
c□子育てや家庭教育、青少年育成など教育に関するもの
d□ボランティア活動に関するもの
e□音楽、美術、文学、歴史など趣味や教養に関するもの
f□運動やスポーツ、レクリエーションに関するもの
g□仕事に役立つ知識や技能に関するもの
h□スマートフォンやパソコンなどの活用に関するもの
i□衣食住など家庭生活に役立つ知識や技能に関するもの
j□配信やリモートなどオンラインの講座や教室
k□健康法や医学など心身の健康に関するもの
l□その他

（右上へ続く）

（左下から続く）

問11 今後あなたは、どのように生涯学習を行いたいですか。
（✔はいくつでも）
a□生涯学習センターや区役所など公的な施設で開催される講座や教室などへの参加
b□カルチャーセンターや文化教室など民間で開催される講座や教室への参加
c□大学で開催される講座や教室への参加
d□地域の団体やPTA、NPOなどが行う学習や活動への参加
e□自主的なグループや仲間との学習や活動
f□自宅や図書館などで行う個人による学習や活動
g□配信やリモートなどオンラインの講座や教室への参加
h□その他

問12 あなたがお住まいの地域において、関心のある学習内容を選んでください。（✔はいくつでも）
a□人権
b□防災
c□環境
d□少子高齢化
e□男女共同参画社会の実現
f□障がい者
g□国際理解
h□地域の歴史・文化・自然
i□まち（地域）づくり
j□家庭教育
k□青少年育成
l□ボランティア育成
m□関心のある内容はない
n□その他

問13 今後、生涯学習で得た知識や技能をどのような活動で生かしてみたいですか。（✔はいくつでも）
a□人権、防災、環境、少子高齢化、男女共同参画など社会問題の解決を支援する活動
b□地域の魅力発見や地域活性化などまち（地域）づくりを支援する活動
c□子育てや家庭教育を支援する活動
d□青少年育成や学校を支援する活動
e□土・日曜日や放課後における学校施設での活動を支援する活動
f□趣味的な学習を支援する活動
g□何かに生かそうとは思わない
h□その他

問14 名古屋市では、生涯学習センターでみなさんの生涯学習に対する支援を行っています。今後、さらに充実してほしい内容を選んでください。（✔はいくつでも）
a□講座や講演会などの事業
b□ボランティア活動や育成に関すること
c□地域の魅力発見や地域活性化などまち（地域）づくりに関すること
d□人権、防災、環境、少子高齢化、男女共同参画など社会問題の解決に関すること
e□子育てや家庭教育、青少年育成など教育に関すること
f□地域の団体やPTA、NPOなどが行う事業
g□健康法や医学など心身の健康に関するもの
h□学習についての情報提供
i□指導者・リーダーの養成
j□施設・設備の充実
k□学習に関する相談などの事業
l□グループの発表会、交流会などの事業
m□配信やリモートなどオンラインの講座や教室
n□特に充実してほしい内容はない
o□その他

最後までご協力いただき、ありがとうございました。ご記入いただきましたら、９月30日(木)までに、同封の封筒を使って、ご返信ください。

「生涯学習に関する市民意識調査」
－市民の学習状況と学習志向に関する調査－

発行年月　令和４年３月

発行部数　300 部

発　　行　名古屋市教育委員会
　　生涯学習部生涯学習課

〒461-0001　名古屋市東区泉一丁目１番４号
　　名古屋市教育館６階
　　TEL　(052) 950-5031
　　FAX　(052) 950-5041

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています